

## 6 医療機関調査

### ① 調査対象

市内の医療機関（病院、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション）

### ② 調査方法

郵送配付・郵送回収及びインターネット回答

### ③ 調査時期

令和4年12月26日～令和5年1月13日

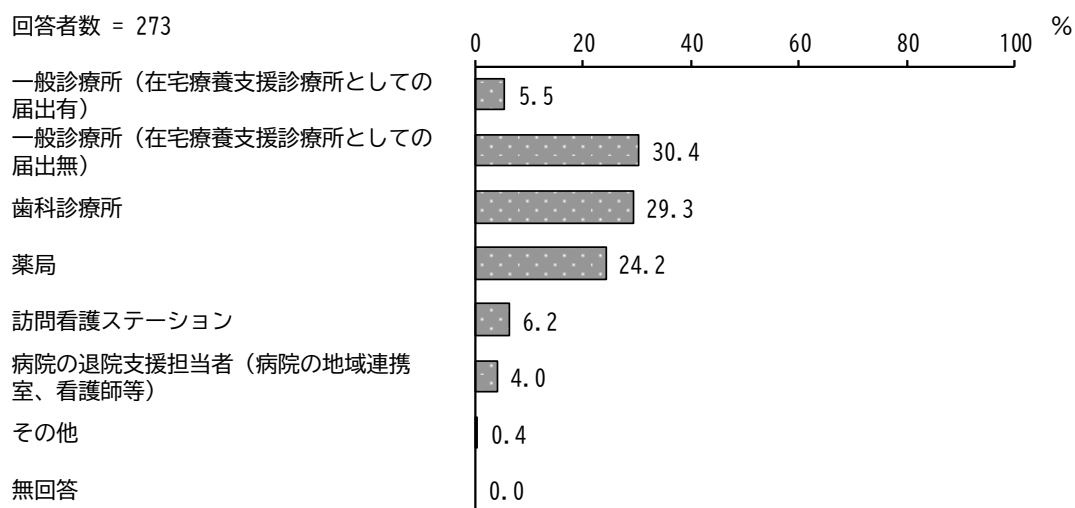
### ④ 回収率

配布数	有効回収数（率）		郵送回答数（率）	Web回答数（率）
477通	273通	57.2%	212通	61件

## (1) 所属している医療機関について

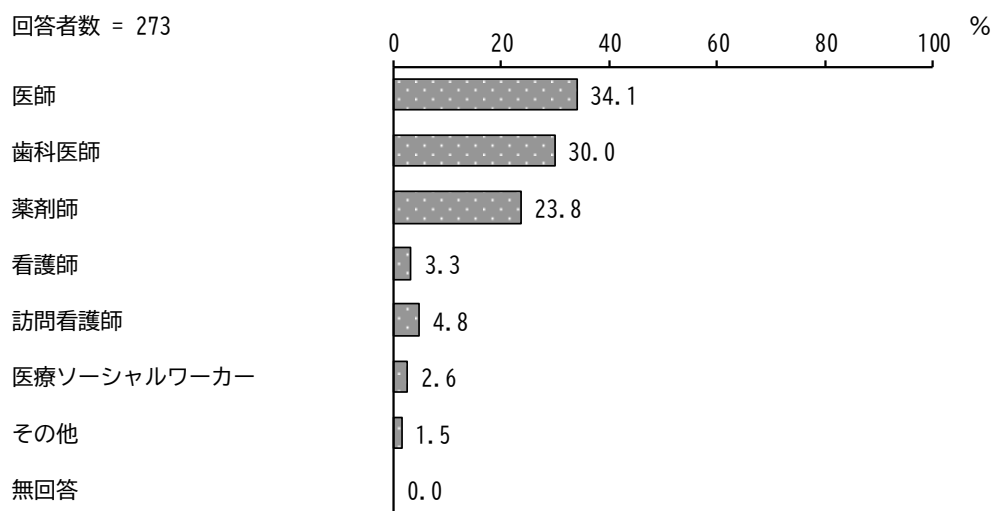
問1 あなたが所属されている医療機関を教えてください。(1つに○)

「一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出無)」の割合が30.4%と最も高く、次いで「歯科診療所」の割合が29.3%、「薬局」の割合が24.2%となっています。



問2 あなたの職種は次のどれですか。(1つに○)

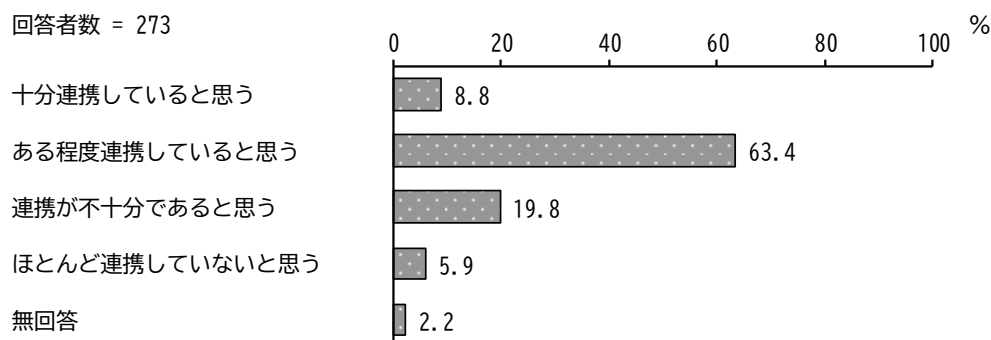
「医師」の割合が34.1%と最も高く、次いで「歯科医師」の割合が30.0%、「薬剤師」の割合が23.8%となっています。



## (2) 医療と介護の連携について

問3 府中市民の在宅療養者を支える医療と介護の連携の状況についてどのように思いますか。(1つに○)

「ある程度連携していると思う」の割合が63.4%と最も高く、次いで「連携が不十分であると思う」の割合が19.8%となっています。



### 【クロス別】

クロス別にみると、訪問看護師、訪問看護ステーション、病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）で「連携が不十分であると思う」の割合が高くなっています。

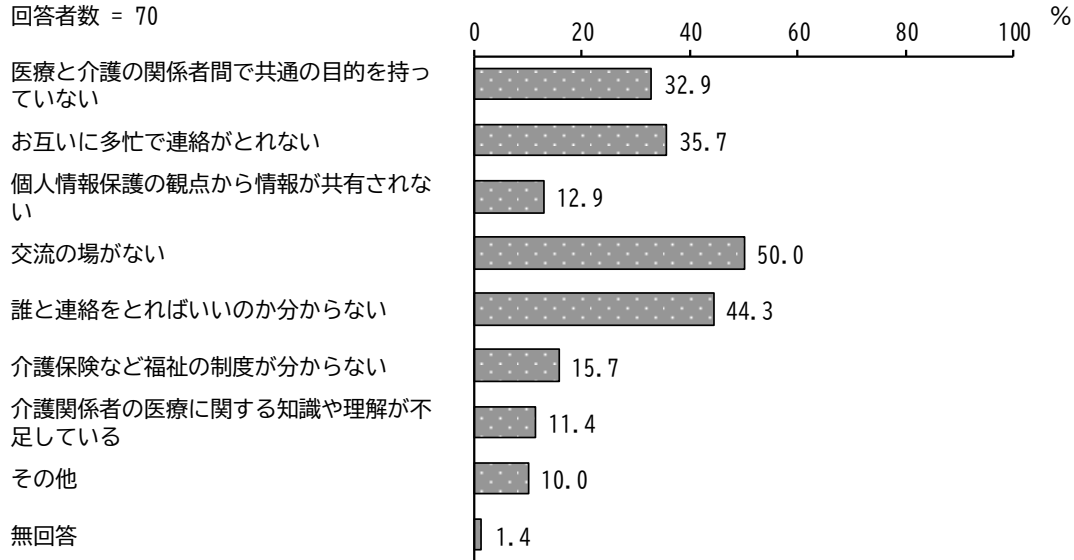
単位：%

区分	回答者数(件)	十分連携している と思う	ある程度連携して いると思う	連携が不十分であ ると思う	ほとんど連携して いないと思う	無回答	
全 体	273	8.8	63.4	19.8	5.9	2.2	
所属医療 機関 (6種)	一般診療所（在宅療養支援診療 所としての届出有）	15	20.0	53.3	20.0	6.7	—
	一般診療所（在宅療養支援診療 所としての届出無）	83	8.4	61.4	21.7	6.0	2.4
	歯科診療所	80	10.0	63.8	16.3	8.8	1.3
	薬局	66	3.0	69.7	18.2	4.5	4.5
	訪問看護ステーション	17	11.8	58.8	29.4	—	—
	病院の退院支援担当者（病院の 地域連携室、看護師等）	11	18.2	54.5	27.3	—	—
職種 (6種)	医師	93	10.8	60.2	20.4	6.5	2.2
	歯科医師	82	9.8	62.2	18.3	8.5	1.2
	薬剤師	65	3.1	70.8	18.5	4.6	3.1
	看護師	9	22.2	55.6	22.2	—	—
	訪問看護師	13	7.7	53.8	30.8	—	7.7
	医療ソーシャルワーカー	7	—	85.7	14.3	—	—

問3-1 問3で「連携が不十分であると思う」又は「ほとんど連携していないと思う」とお答えの方におたずねします。そのように考える理由は何ですか。(3つまでに○)

「交流の場がない」の割合が50.0%と最も高く、次いで「誰と連絡をとればいいのか分からない」の割合が44.3%、「お互いに多忙で連絡がとれない」の割合が35.7%となっています。

回答者数 = 70



【クロス別】

クロス別にみると、薬局、薬剤師で「誰と連絡をとればいいのか分からない」「お互いに多忙で連絡がとれない」の割合が、歯科診療所で「介護保険など福祉の制度が分からない」の割合が高くなっています。

単位：%

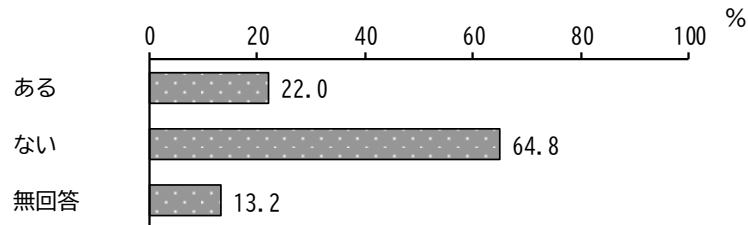
区分	回答者数(件)	医療と介護の関係者間で共通の目的を持っていない	お互いに多忙で連絡がとれない	個人情報保護の観点から情報が共有されない	交流の場がない	誰と連絡をとればいいのか分からない	介護保険など福祉の制度が分からない	介護関係者の医療に関する知識や理解が不足している	その他	無回答	
全体	70	32.9	35.7	12.9	50.0	44.3	15.7	11.4	10.0	1.4	
所属医療機関(6種)	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出有)	4	25.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-	
	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出無)	23	39.1	26.1	13.0	47.8	30.4	13.0	17.4	8.7	4.3
	歯科診療所	20	20.0	40.0	15.0	50.0	55.0	35.0	10.0	-	-
	薬局	15	33.3	53.3	6.7	60.0	73.3	-	-	6.7	-
	訪問看護ステーション	5	40.0	40.0	20.0	40.0	-	-	20.0	60.0	-
	病院の退院支援担当者(病院の地域連携室、看護師等)	3	66.7	-	-	66.7	33.3	33.3	-	-	-
職種(6種)	医師	25	40.0	28.0	16.0	40.0	32.0	16.0	20.0	12.0	-
	歯科医師	22	18.2	36.4	13.6	50.0	54.5	31.8	9.1	-	4.5
	薬剤師	15	33.3	53.3	6.7	60.0	73.3	-	-	6.7	-
	看護師	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-
	訪問看護師	4	50.0	50.0	25.0	50.0	-	-	25.0	50.0	-
	医療ソーシャルワーカー	1	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-

<病院の退院支援担当者以外の方におたずねします>

問4 退院前（時）カンファレンスやサービス担当者会議に出席したことがありますか。（1つに○）

「ある」の割合が22.0%、「ない」の割合が64.8%となっています。

回答者数 = 273



【クロス別】

クロス別にみると、訪問看護師、訪問看護ステーション、一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）で「ある」の割合が高くなっています。

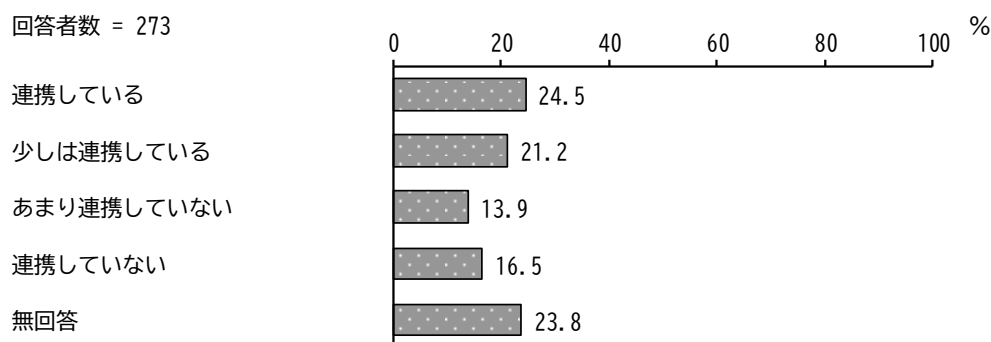
単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答	
全 体	273	22.0	64.8	13.2	
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出有)	15	46.7	53.3	—
	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出無)	83	9.6	71.1	19.3
	歯科診療所	80	5.0	83.8	11.3
	薬局	66	30.3	62.1	7.6
	訪問看護ステーション	17	88.2	5.9	5.9
	病院の退院支援担当者 (病院の地域連携室、看護師等)	11	45.5	9.1	45.5
職種 (6種)	医師	93	12.9	69.9	17.2
	歯科医師	82	6.1	82.9	11.0
	薬剤師	65	29.2	63.1	7.7
	看護師	9	55.6	11.1	33.3
	訪問看護師	13	100.0	—	—
	医療ソーシャルワーカー	7	71.4	—	28.6

問5 介護サービス利用者について、次の関係機関、職種との連携状況をお答えください。(ア～ソそれぞれ1つに○)

ア. 病院

「連携している」の割合が24.5%と最も高く、次いで「少しは連携している」の割合が21.2%、「連携していない」の割合が16.5%となっています。



【クロス別】

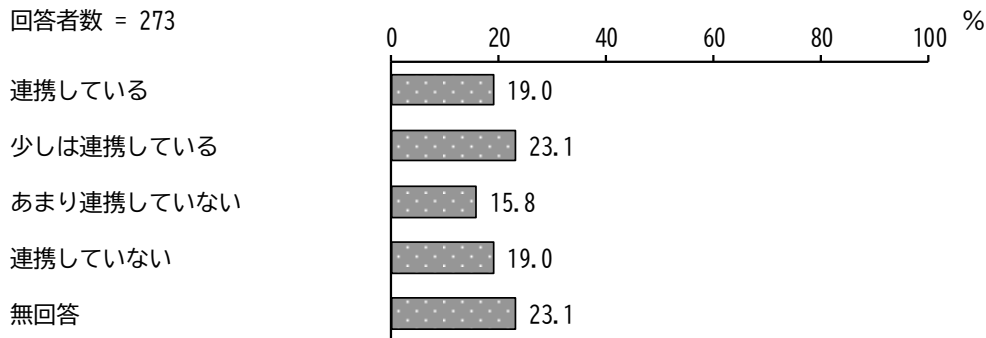
クロス別にみると、訪問看護師、訪問看護ステーションで「連携している」の割合が、一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）で「少しは連携している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	
全体	273	24.5	21.2	13.9	16.5	23.8	
所属医療機関 (6種)	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）	15	40.0	40.0	13.3	—	6.7
	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無）	83	27.7	19.3	16.9	15.7	20.5
	歯科診療所	80	13.8	18.8	8.8	25.0	33.8
	薬局	66	24.2	21.2	16.7	15.2	22.7
	訪問看護ステーション	17	52.9	29.4	17.6	—	—
	病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）	11	18.2	9.1	9.1	18.2	45.5
職種 (6種)	医師	93	29.0	22.6	15.1	14.0	19.4
	歯科医師	82	14.6	18.3	9.8	24.4	32.9
	薬剤師	65	23.1	21.5	16.9	15.4	23.1
	看護師	9	44.4	22.2	11.1	—	22.2
	訪問看護師	13	53.8	30.8	15.4	—	—
	医療ソーシャルワーカー	7	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6

## イ. 介護サービス利用者のかかりつけ医

「少しは連携している」の割合が23.1%と最も高く、次いで「連携している」、「連携していない」の割合が19.0%となっています。



### 【クロス別】

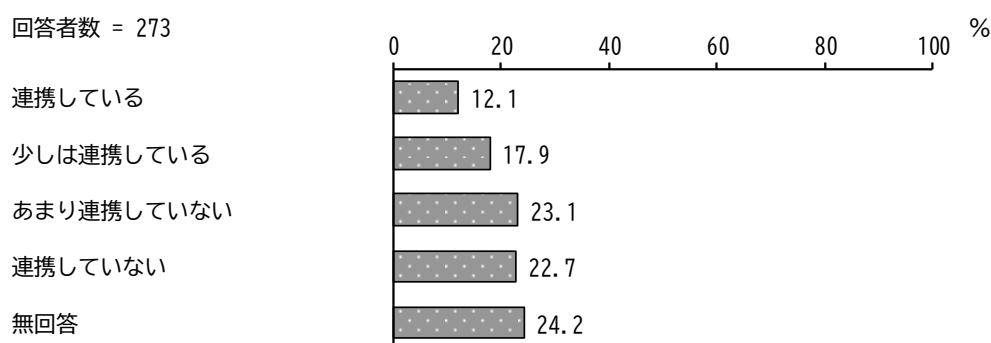
クロス別にみると、訪問看護ステーション、訪問看護師で「少しは連携している」の割合が、一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）で「連携している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	
全 体	273	19.0	23.1	15.8	19.0	23.1	
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出有)	15	46.7	26.7	20.0	—	6.7
	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出無)	83	14.5	22.9	20.5	20.5	21.7
	歯科診療所	80	3.8	12.5	15.0	36.3	32.5
	薬局	66	36.4	24.2	12.1	7.6	19.7
	訪問看護ステーション	17	35.3	58.8	5.9	—	—
	病院の退院支援担当者 (病院の地域連携室、看護師等)	11	—	27.3	18.2	9.1	45.5
職種 (6種)	医師	93	19.4	22.6	20.4	18.3	19.4
	歯科医師	82	3.7	12.2	15.9	35.4	32.9
	薬剤師	65	35.4	24.6	12.3	7.7	20.0
	看護師	9	22.2	44.4	11.1	—	22.2
	訪問看護師	13	46.2	53.8	—	—	—
	医療ソーシャルワーカー	7	—	42.9	28.6	—	28.6

### ウ. 介護サービス利用者が必要と考えられる診療科単科の医師

「あまり連携していない」の割合が 23.1%と最も高く、次いで「連携していない」の割合が 22.7%、「少しは連携している」の割合が 17.9%となっています。



### 【クロス別】

クロス別にみると、訪問看護師、一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）で「連携している」の割合が、訪問看護ステーションで「少しは連携している」の割合が高くなっています。

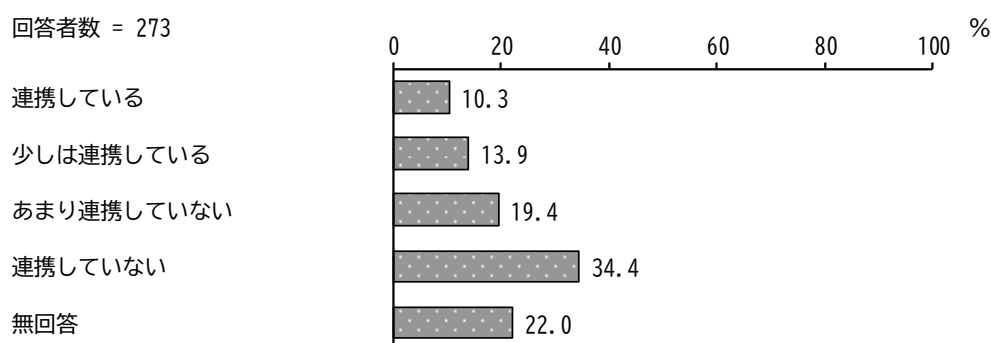
単位：%

区分	回答者数 (件)	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	
全体	273	12.1	17.9	23.1	22.7	24.2	
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出有)	15	33.3	26.7	33.3	—	6.7
	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出無)	83	9.6	22.9	25.3	20.5	21.7
	歯科診療所	80	5.0	5.0	15.0	40.0	35.0
	薬局	66	16.7	19.7	27.3	15.2	21.2
	訪問看護ステーション	17	29.4	41.2	23.5	5.9	—
	病院の退院支援担当者 (病院の地域連携室、看護師等)	11	—	9.1	27.3	18.2	45.5
職種 (6種)	医師	93	12.9	22.6	26.9	18.3	19.4
	歯科医師	82	4.9	4.9	15.9	39.0	35.4
	薬剤師	65	15.4	20.0	27.7	15.4	21.5
	看護師	9	22.2	33.3	22.2	—	22.2
	訪問看護師	13	38.5	38.5	15.4	7.7	—
	医療ソーシャルワーカー	7	—	14.3	42.9	14.3	28.6



## 工. 歯科医師

「連携していない」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「あまり連携していない」の割合が 19.4%、「少しは連携している」の割合が 13.9%となっています。



### 【クロス別】

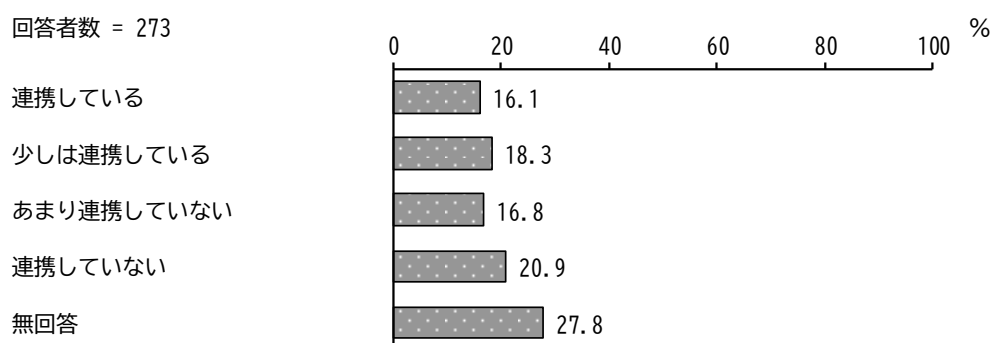
クロス別にみると、訪問看護ステーションで「あまり連携していない」の割合が、訪問看護師で「あまり連携していない」「少しは連携している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	
全体	273	10.3	13.9	19.4	34.4	22.0	
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出有)	15	20.0	26.7	33.3	13.3	6.7
	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出無)	83	7.2	16.9	19.3	33.7	22.9
	歯科診療所	80	17.5	8.8	12.5	36.3	25.0
	薬局	66	1.5	13.6	18.2	43.9	22.7
	訪問看護ステーション	17	17.6	23.5	52.9	5.9	—
	病院の退院支援担当者 (病院の地域連携室、看護師等)	11	—	—	9.1	45.5	45.5
職種 (6種)	医師	93	8.6	17.2	21.5	32.3	20.4
	歯科医師	82	17.1	9.8	12.2	35.4	25.6
	薬剤師	65	1.5	12.3	18.5	44.6	23.1
	看護師	9	33.3	11.1	33.3	—	22.2
	訪問看護師	13	15.4	30.8	46.2	7.7	—
	医療ソーシャルワーカー	7	—	—	14.3	57.1	28.6

## オ. 薬剤師

「連携していない」の割合が20.9%と最も高く、次いで「少しは連携している」の割合が18.3%、「あまり連携していない」の割合が16.8%となっています。



### 【クロス別】

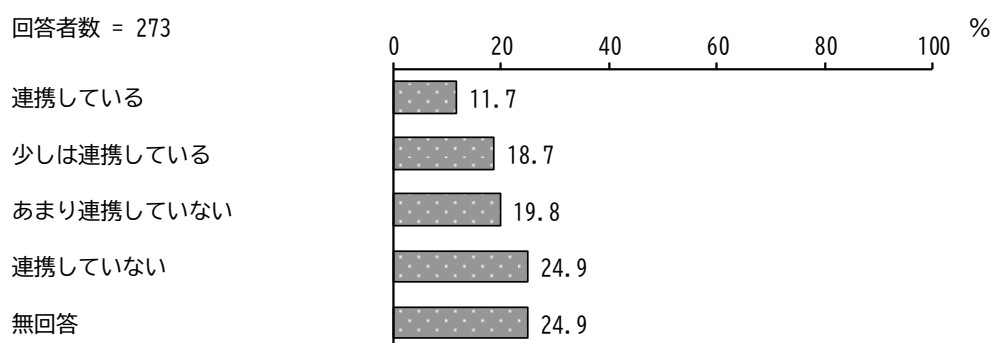
クロス別にみると、訪問看護師、一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）、訪問看護ステーションで「連携している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	
全体	273	16.1	18.3	16.8	20.9	27.8	
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出有)	15	40.0	20.0	20.0	13.3	6.7
	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出無)	83	19.3	24.1	16.9	16.9	22.9
	歯科診療所	80	2.5	10.0	15.0	37.5	35.0
	薬局	66	19.7	16.7	18.2	12.1	33.3
	訪問看護ステーション	17	35.3	35.3	17.6	5.9	5.9
	病院の退院支援担当者 (病院の地域連携室、看護師等)	11	—	18.2	18.2	18.2	45.5
職種 (6種)	医師	93	20.4	24.7	18.3	16.1	20.4
	歯科医師	82	2.4	9.8	14.6	37.8	35.4
	薬剤師	65	18.5	16.9	18.5	12.3	33.8
	看護師	9	33.3	33.3	11.1	—	22.2
	訪問看護師	13	46.2	23.1	15.4	7.7	7.7
	医療ソーシャルワーカー	7	—	14.3	28.6	28.6	28.6

## カ. 病院の地域連携室（医療ソーシャルワーカー）

「連携していない」の割合が 24.9%と最も高く、次いで「あまり連携していない」の割合が 19.8%、「少しは連携している」の割合が 18.7%となっています。



### 【クロス別】

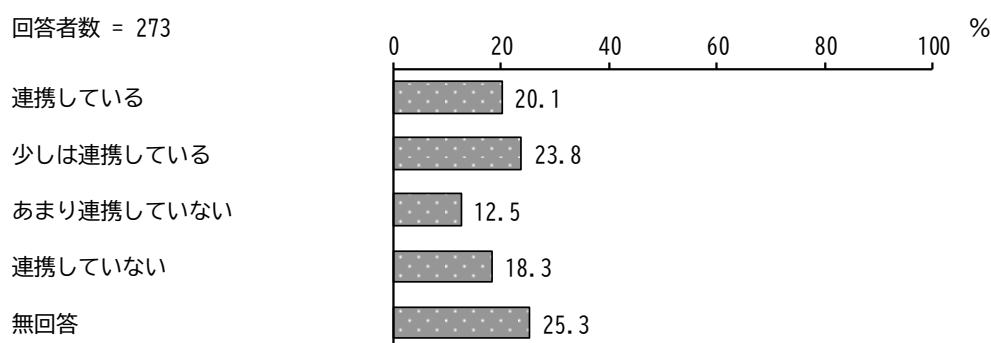
クロス別にみると、訪問看護師で「連携している」の割合が、訪問看護ステーションで「連携している」「少しは連携している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	
全体	273	11.7	18.7	19.8	24.9	24.9	
所属医療機関 (6種)	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）	15	26.7	20.0	40.0	6.7	6.7
	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無）	83	14.5	20.5	22.9	20.5	21.7
	歯科診療所	80	1.3	11.3	17.5	37.5	32.5
	薬局	66	7.6	21.2	18.2	28.8	24.2
	訪問看護ステーション	17	41.2	41.2	17.6	—	—
	病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）	11	18.2	9.1	—	9.1	63.6
職種 (6種)	医師	93	16.1	19.4	25.8	19.4	19.4
	歯科医師	82	1.2	11.0	18.3	36.6	32.9
	薬剤師	65	6.2	21.5	18.5	29.2	24.6
	看護師	9	33.3	33.3	11.1	—	22.2
	訪問看護師	13	53.8	30.8	15.4	—	—
	医療ソーシャルワーカー	7	28.6	14.3	—	—	57.1

## キ. 地域包括支援センター

「少しは連携している」の割合が23.8%と最も高く、次いで「連携している」の割合が20.1%、「連携していない」の割合が18.3%となっています。



### 【クロス別】

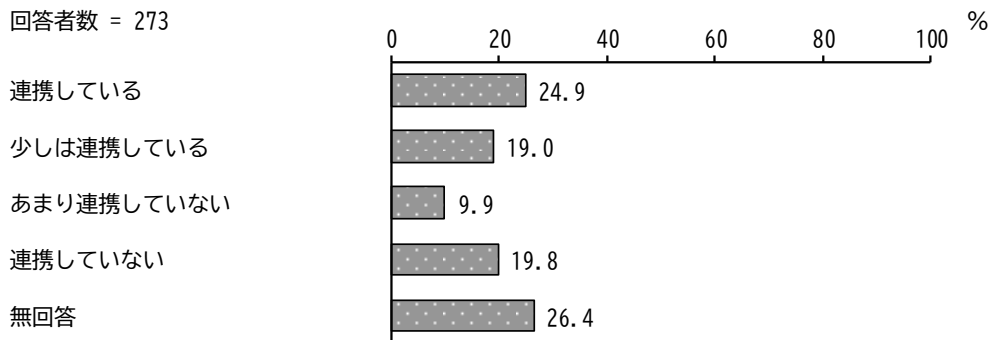
クロス別にみると、訪問看護師で「少しは連携している」「連携している」の割合が、訪問看護ステーションで「少しは連携している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	
全体	273	20.1	23.8	12.5	18.3	25.3	
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出有)	15	26.7	33.3	26.7	6.7	6.7
	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出無)	83	22.9	28.9	12.0	13.3	22.9
	歯科診療所	80	5.0	7.5	15.0	37.5	35.0
	薬局	66	25.8	28.8	12.1	9.1	24.2
	訪問看護ステーション	17	41.2	52.9	—	5.9	—
	病院の退院支援担当者 (病院の地域連携室、看護師等)	11	36.4	9.1	—	9.1	45.5
職種 (6種)	医師	93	22.6	30.1	14.0	12.9	20.4
	歯科医師	82	4.9	7.3	15.9	36.6	35.4
	薬剤師	65	24.6	29.2	12.3	9.2	24.6
	看護師	9	33.3	33.3	—	11.1	22.2
	訪問看護師	13	46.2	53.8	—	—	—
	医療ソーシャルワーカー	7	57.1	14.3	—	—	28.6

## ク. 訪問看護ステーション

「連携している」の割合が 24.9%と最も高く、次いで「連携していない」の割合が 19.8%、「少しは連携している」の割合が 19.0%となっています。



### 【クロス別】

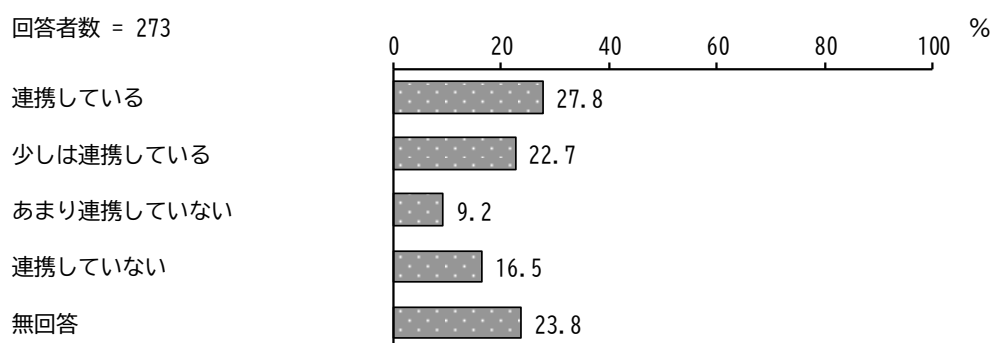
クロス別にみると、訪問看護師、一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）で「連携している」の割合が、訪問看護ステーションで「連携している」「少しは連携している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分		回答者数 (件)	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全 体		273	24.9	19.0	9.9	19.8	26.4
所属医療機関 (6種)	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）	15	53.3	26.7	13.3	—	6.7
	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無）	83	28.9	22.9	10.8	13.3	24.1
	歯科診療所	80	5.0	5.0	15.0	40.0	35.0
	薬局	66	30.3	25.8	6.1	13.6	24.2
	訪問看護ステーション	17	47.1	41.2	—	—	11.8
	病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）	11	36.4	9.1	—	9.1	45.5
職種 (6種)	医師	93	32.3	23.7	10.8	11.8	21.5
	歯科医師	82	4.9	4.9	15.9	39.0	35.4
	薬剤師	65	29.2	26.2	6.2	13.8	24.6
	看護師	9	11.1	44.4	—	11.1	33.3
	訪問看護師	13	69.2	23.1	—	—	7.7
	医療ソーシャルワーカー	7	57.1	14.3	—	—	28.6

## ケ. ケアマネジャー（介護支援専門員）

「連携している」の割合が 27.8%と最も高く、次いで「少しは連携している」の割合が 22.7%、「連携していない」の割合が 16.5%となっています。



### 【クロス別】

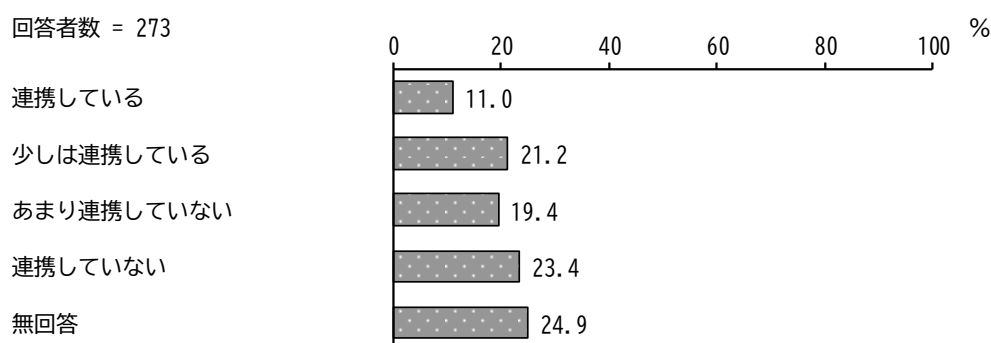
クロス別にみると、訪問看護師、訪問看護ステーション、一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）で「連携している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	
全体	273	27.8	22.7	9.2	16.5	23.8	
所属医療機関 (6種)	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）	15	46.7	26.7	20.0	—	6.7
	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無）	83	18.1	31.3	14.5	13.3	22.9
	歯科診療所	80	11.3	13.8	8.8	33.8	32.5
	薬局	66	39.4	25.8	4.5	9.1	21.2
	訪問看護ステーション	17	88.2	11.8	—	—	—
	病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）	11	36.4	9.1	—	9.1	45.5
職種 (6種)	医師	93	21.5	30.1	16.1	11.8	20.4
	歯科医師	82	11.0	14.6	8.5	32.9	32.9
	薬剤師	65	38.5	26.2	4.6	9.2	21.5
	看護師	9	55.6	22.2	—	—	22.2
	訪問看護師	13	92.3	7.7	—	—	—
	医療ソーシャルワーカー	7	57.1	14.3	—	—	28.6

## コ. ホームヘルパー（訪問介護員）

「連携していない」の割合が23.4%と最も高く、次いで「少しは連携している」の割合が21.2%、「あまり連携していない」の割合が19.4%となっています。



### 【クロス別】

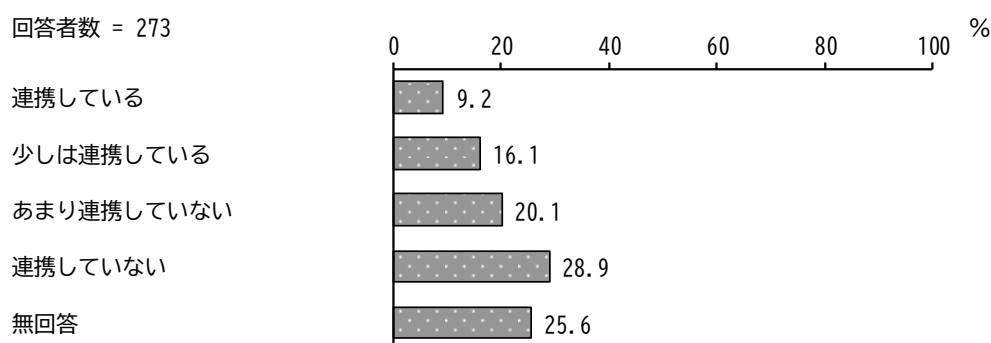
クロス別にみると、訪問看護師で「連携している」の割合が、訪問看護ステーションで「少しは連携している」の割合が、一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）で「あまり連携していない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	
全体	273	11.0	21.2	19.4	23.4	24.9	
所属医療機関 (6種)	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）	15	26.7	13.3	46.7	6.7	6.7
	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無）	83	3.6	21.7	26.5	25.3	22.9
	歯科診療所	80	7.5	8.8	15.0	36.3	32.5
	薬局	66	16.7	30.3	12.1	15.2	25.8
	訪問看護ステーション	17	35.3	52.9	11.8	—	—
	病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）	11	—	18.2	18.2	18.2	45.5
職種 (6種)	医師	93	7.5	18.3	31.2	22.6	20.4
	歯科医師	82	7.3	8.5	14.6	36.6	32.9
	薬剤師	65	15.4	30.8	12.3	15.4	26.2
	看護師	9	11.1	44.4	11.1	11.1	22.2
	訪問看護師	13	46.2	46.2	7.7	—	—
	医療ソーシャルワーカー	7	—	28.6	28.6	14.3	28.6

### サ. 通所介護（デイサービス）

「連携していない」の割合が 28.9%と最も高く、次いで「あまり連携していない」の割合が 20.1%、「少しは連携している」の割合が 16.1%となっています。



### 【クロス別】

クロス別にみると、訪問看護師で「少しは連携している」の割合が、訪問看護ステーションで「少しは連携している」「あまり連携していない」の割合が高くなっています。

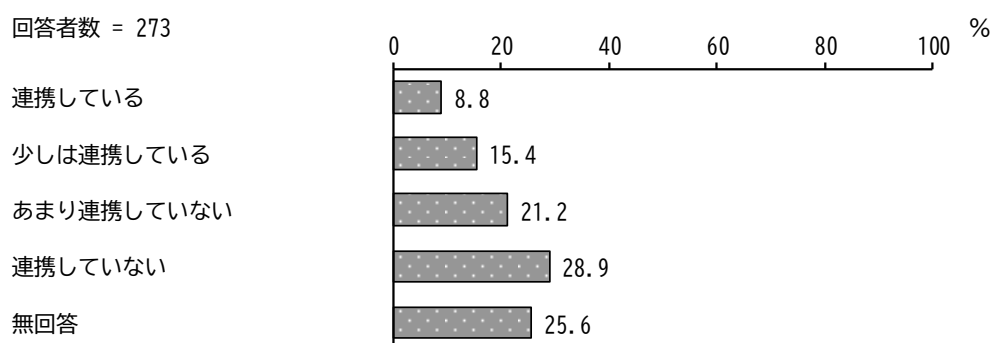
単位：%

区分	回答者数 (件)	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	
全体	273	9.2	16.1	20.1	28.9	25.6	
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出有)	15	20.0	26.7	26.7	20.0	6.7
	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出無)	83	9.6	21.7	24.1	20.5	24.1
	歯科診療所	80	2.5	2.5	15.0	45.0	35.0
	薬局	66	13.6	15.2	16.7	30.3	24.2
	訪問看護ステーション	17	11.8	47.1	41.2	—	—
	病院の退院支援担当者 (病院の地域連携室、看護師等)	11	9.1	18.2	9.1	18.2	45.5
職種 (6種)	医師	93	10.8	20.4	25.8	21.5	21.5
	歯科医師	82	2.4	3.7	14.6	43.9	35.4
	薬剤師	65	13.8	13.8	16.9	30.8	24.6
	看護師	9	11.1	11.1	44.4	11.1	22.2
	訪問看護師	13	15.4	61.5	23.1	—	—
	医療ソーシャルワーカー	7	14.3	28.6	14.3	14.3	28.6



## シ. 訪問・通所リハビリテーション

「連携していない」の割合が 28.9%と最も高く、次いで「あまり連携していない」の割合が 21.2%、「少しは連携している」の割合が 15.4%となっています。



### 【クロス別】

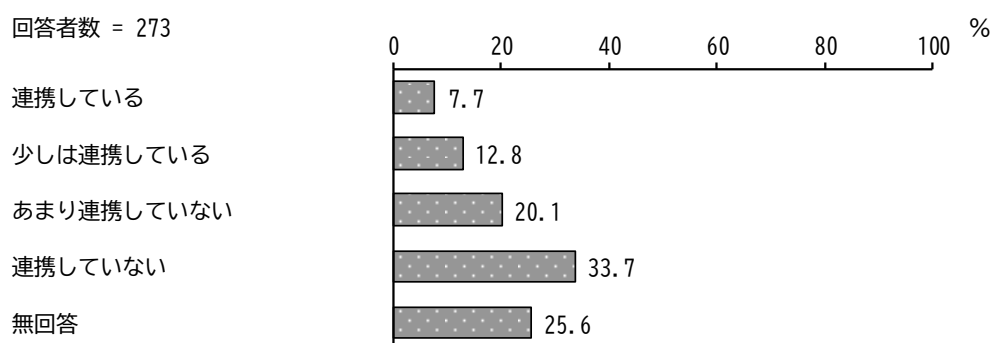
クロス別にみると、訪問看護師で「少しは連携している」の割合が、訪問看護ステーションで「あまり連携していない」「少しは連携している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	
全体	273	8.8	15.4	21.2	28.9	25.6	
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出有)	15	20.0	33.3	33.3	6.7	6.7
	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出無)	83	9.6	24.1	24.1	19.3	22.9
	歯科診療所	80	2.5	2.5	15.0	45.0	35.0
	薬局	66	12.1	12.1	19.7	31.8	24.2
	訪問看護ステーション	17	11.8	35.3	41.2	5.9	5.9
	病院の退院支援担当者 (病院の地域連携室、看護師等)	11	9.1	9.1	9.1	27.3	45.5
職種 (6種)	医師	93	10.8	23.7	26.9	18.3	20.4
	歯科医師	82	2.4	3.7	14.6	43.9	35.4
	薬剤師	65	10.8	12.3	20.0	32.3	24.6
	看護師	9	11.1	11.1	33.3	22.2	22.2
	訪問看護師	13	23.1	38.5	30.8	—	7.7
	医療ソーシャルワーカー	7	14.3	14.3	14.3	28.6	28.6

## ス. 短期入所生活介護（ショートステイ）

「連携していない」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「あまり連携していない」の割合が 20.1%、「少しは連携している」の割合が 12.8%となっています。



### 【クロス別】

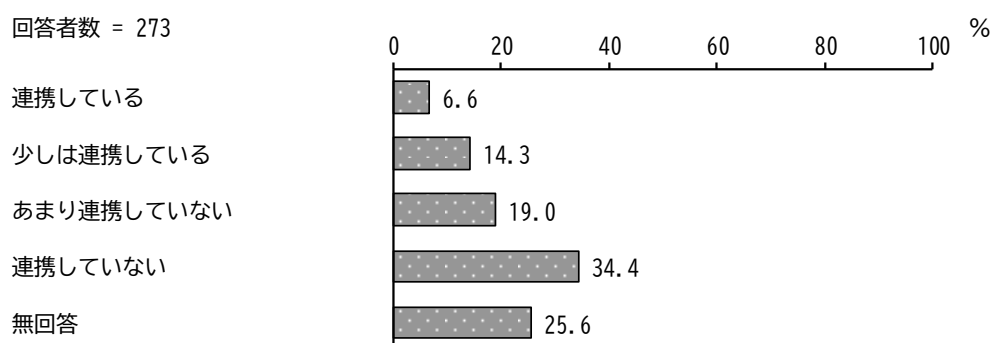
クロス別にみると、訪問看護師、訪問看護ステーションで「あまり連携していない」の割合が、歯科診療所で「連携していない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	
全体	273	7.7	12.8	20.1	33.7	25.6	
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出有)	15	20.0	20.0	26.7	26.7	6.7
	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出無)	83	8.4	19.3	25.3	24.1	22.9
	歯科診療所	80	2.5	1.3	13.8	46.3	36.3
	薬局	66	9.1	15.2	18.2	33.3	24.2
	訪問看護ステーション	17	5.9	23.5	35.3	35.3	—
	病院の退院支援担当者 (病院の地域連携室、看護師等)	11	9.1	9.1	9.1	27.3	45.5
職種 (6種)	医師	93	9.7	18.3	25.8	25.8	20.4
	歯科医師	82	2.4	1.2	14.6	45.1	36.6
	薬剤師	65	9.2	15.4	16.9	33.8	24.6
	看護師	9	22.2	11.1	11.1	33.3	22.2
	訪問看護師	13	7.7	23.1	46.2	23.1	—
	医療ソーシャルワーカー	7	14.3	14.3	14.3	28.6	28.6

## セ. 特別養護老人ホーム

「連携していない」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「あまり連携していない」の割合が 19.0%、「少しは連携している」の割合が 14.3%となっています。



### 【クロス別】

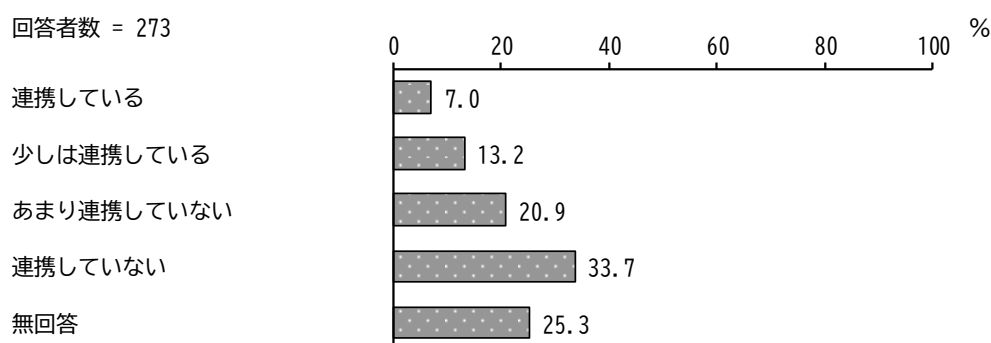
クロス別にみると、訪問看護師、訪問看護ステーションで「あまり連携していない」の割合が、一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）で「少しは連携している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	
全 体	273	6.6	14.3	19.0	34.4	25.6	
所属医療機関 (6種)	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）	15	13.3	33.3	6.7	40.0	6.7
	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無）	83	7.2	12.0	27.7	30.1	22.9
	歯科診療所	80	2.5	11.3	13.8	36.3	36.3
	薬局	66	7.6	15.2	16.7	36.4	24.2
	訪問看護ステーション	17	5.9	11.8	35.3	47.1	—
	病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）	11	9.1	27.3	—	18.2	45.5
職種 (6種)	医師	93	7.5	12.9	25.8	33.3	20.4
	歯科医師	82	3.7	11.0	13.4	35.4	36.6
	薬剤師	65	7.7	15.4	15.4	36.9	24.6
	看護師	9	11.1	11.1	11.1	44.4	22.2
	訪問看護師	13	7.7	15.4	46.2	30.8	—
	医療ソーシャルワーカー	7	14.3	42.9	—	14.3	28.6

## ソ. 介護老人保健施設

「連携していない」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「あまり連携していない」の割合が 20.9%、「少しは連携している」の割合が 13.2%となっています。



### 【クロス別】

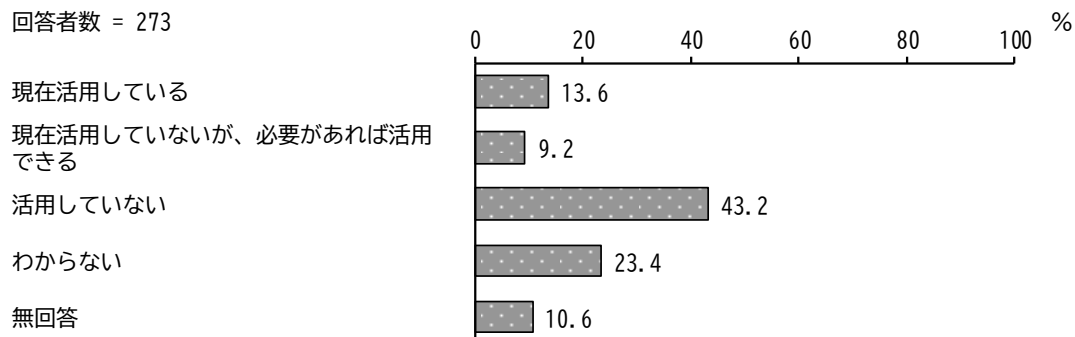
クロス別にみると、訪問看護師、訪問看護ステーションで「あまり連携していない」の割合が、一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）で「少しは連携している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	
全体	273	7.0	13.2	20.9	33.7	25.3	
所属医療機関 (6種)	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）	15	13.3	33.3	13.3	33.3	6.7
	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無）	83	7.2	16.9	26.5	26.5	22.9
	歯科診療所	80	2.5	7.5	16.3	38.8	35.0
	薬局	66	9.1	10.6	19.7	36.4	24.2
	訪問看護ステーション	17	11.8	5.9	41.2	41.2	—
	病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）	11	9.1	27.3	—	18.2	45.5
職種 (6種)	医師	93	7.5	17.2	25.8	29.0	20.4
	歯科医師	82	3.7	7.3	15.9	37.8	35.4
	薬剤師	65	9.2	10.8	18.5	36.9	24.6
	看護師	9	11.1	11.1	11.1	44.4	22.2
	訪問看護師	13	7.7	7.7	53.8	30.8	—
	医療ソーシャルワーカー	7	14.3	42.9	—	14.3	28.6

問6 貴事業所（貴機関）では、MCS（メディカル ケア ステーション）を活用していますか。（1つに○）

「活用していない」の割合が43.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が23.4%、「現在活用している」の割合が13.6%となっています。



【クロス別】

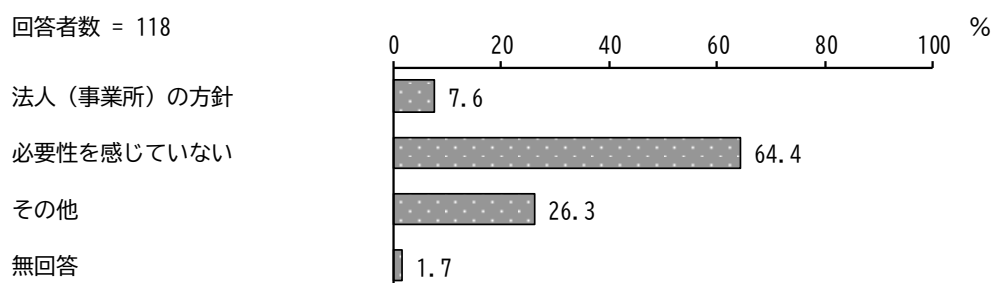
クロス別にみると、訪問看護師、訪問看護ステーション、一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）で「現在活用している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	現在活用している	現在活用していないが、必要があれば活用できる	活用していない	わからない	無回答	
全体	273	13.6	9.2	43.2	23.4	10.6	
所属医療機関（6種）	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）	15	33.3	26.7	33.3	6.7	—
	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無）	83	7.2	6.0	49.4	22.9	14.5
	歯科診療所	80	2.5	5.0	52.5	31.3	8.8
	薬局	66	16.7	16.7	36.4	22.7	7.6
	訪問看護ステーション	17	70.6	—	23.5	5.9	—
	病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）	11	9.1	—	18.2	27.3	45.5
職種（6種）	医師	93	10.8	9.7	47.3	19.4	12.9
	歯科医師	82	2.4	4.9	52.4	31.7	8.5
	薬剤師	65	15.4	16.9	36.9	23.1	7.7
	看護師	9	44.4	11.1	11.1	11.1	22.2
	訪問看護師	13	76.9	—	23.1	—	—
	医療ソーシャルワーカー	7	14.3	—	14.3	42.9	28.6

問6-1 問6で「活用していない」とお答えの方におたずねします。その理由は何ですか。(1つに○)

「法人(事業所)の方針」の割合が7.6%、「必要性を感じていない」の割合が64.4%となっています。



【クロス別】

クロス別にみると、一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出無)、医師、歯科診療所で「必要性を感じていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	法人(事業所)の方針	必要性を感じていない	その他	無回答	
全体	118	7.6	64.4	26.3	1.7	
所属医療機関(6種)	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出有)	5	—	20.0	80.0	—
	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出無)	41	4.9	78.0	14.6	2.4
	歯科診療所	42	—	71.4	26.2	2.4
	薬局	24	25.0	45.8	29.2	—
	訪問看護ステーション	4	25.0	50.0	25.0	—
	病院の退院支援担当者(病院の地域連携室、看護師等)	2	—	—	100.0	—
職種(6種)	医師	44	4.5	72.7	20.5	2.3
	歯科医師	43	—	69.8	27.9	2.3
	薬剤師	24	25.0	45.8	29.2	—
	看護師	1	—	100.0	—	—
	訪問看護師	3	33.3	33.3	33.3	—
	医療ソーシャルワーカー	1	—	—	100.0	—

【MCS（メディカルケアステーション）の活用状況別】

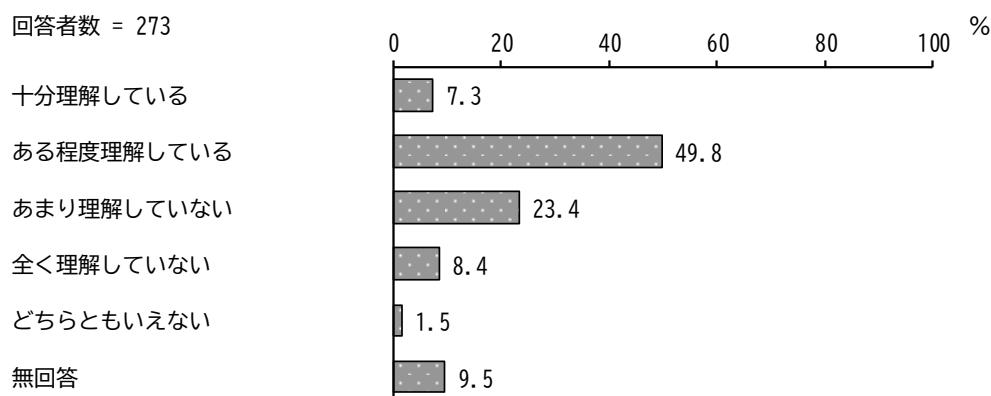
MCS（メディカルケアステーション）の活用状況別にみると、現在活用していないが、必要があれば活用できるで「ある程度連携していると思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	十分連携していると思う	ある程度連携していると思う	連携が不十分であると思う	ほとんど連携していないと思う	無回答
全体	273	8.8	63.4	19.8	5.9	2.2
現在活用している	37	13.5	64.9	18.9	—	2.7
現在活用していないが、必要があれば活用できる	25	8.0	84.0	8.0	—	—
活用していない	118	6.8	62.7	21.2	7.6	1.7
わからない	64	7.8	62.5	21.9	7.8	—

問7 介護保険制度及び介護保険サービスの内容についてどの程度理解していますか。  
(1つに○)

「ある程度理解している」の割合が49.8%と最も高く、次いで「あまり理解していない」の割合が23.4%となっています。



【クロス別】

クロス別にみると、訪問看護ステーション、訪問看護師、一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）で「ある程度理解している」の割合が高くなっています。

単位：％

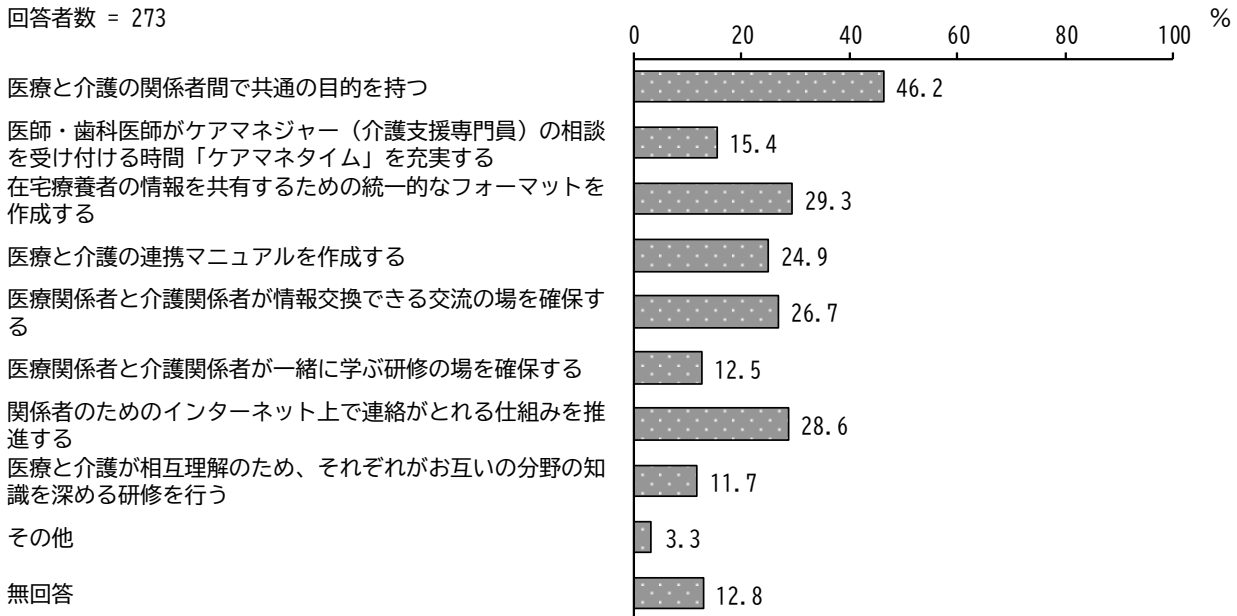
区分		回答者数 (件)	十分理解している	ある程度理解している	あまり理解していない	全く理解していない	どちらともいえない	無回答
全 体		273	7.3	49.8	23.4	8.4	1.5	9.5
所属医療 機関 (6種)	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出有)	15	13.3	66.7	13.3	—	6.7	—
	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出無)	83	8.4	51.8	18.1	9.6	1.2	10.8
	歯科診療所	80	3.8	30.0	37.5	17.5	2.5	8.8
	薬局	66	4.5	60.6	25.8	1.5	—	7.6
	訪問看護ステーション	17	23.5	76.5	—	—	—	—
	病院の退院支援担当者(病院の地域連携室、看護師等)	11	9.1	45.5	—	—	—	45.5
職種 (6種)	医師	93	8.6	54.8	18.3	6.5	2.2	9.7
	歯科医師	82	3.7	30.5	36.6	18.3	2.4	8.5
	薬剤師	65	3.1	61.5	26.2	1.5	—	7.7
	看護師	9	11.1	66.7	—	—	—	22.2
	訪問看護師	13	30.8	69.2	—	—	—	—
	医療ソーシャルワーカー	7	14.3	42.9	—	—	—	42.9



問8 医療職と介護職が連携するために、どのようなことが充実するとよいと思いますか。(3つまでに○)

「医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ」の割合が46.2%と最も高く、次いで「在宅療養者の情報を共有するための統一的なフォーマットを作成する」の割合が29.3%、「関係者のためのインターネット上で連絡がとれる仕組みを推進する」の割合が28.6%となっています。

回答者数 = 273



【クロス別】

クロス別にみると、訪問看護師で「医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ」「医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する」の割合が、訪問看護ステーションで「医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ」の割合が高くなっています。

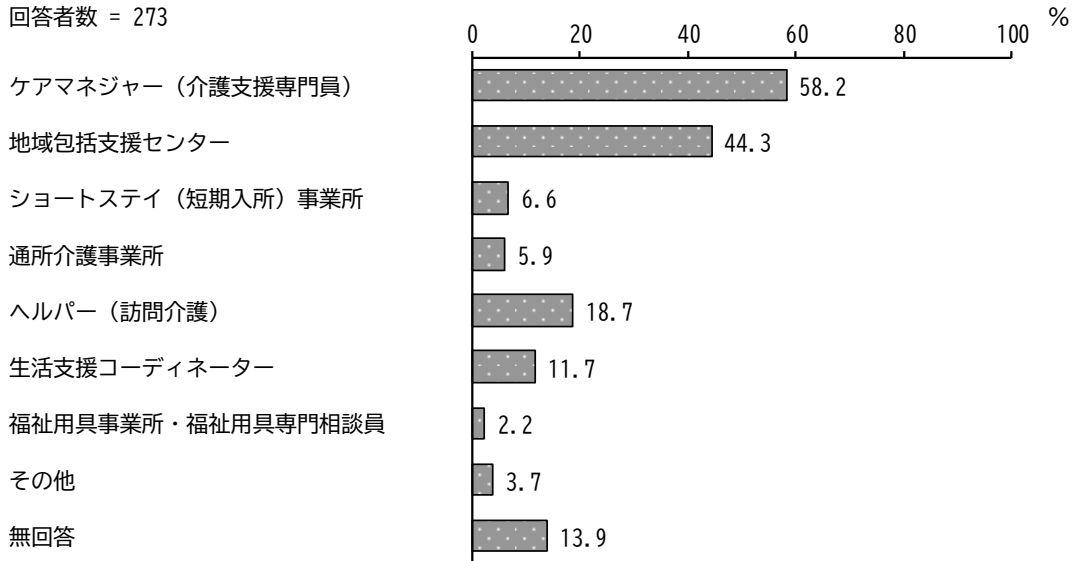
単位：%

区分	回答者数(件)	医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ	医師・歯科医師がケアマネジャー（介護支援専門員）の相談を受け付ける時間「ケアマネタイム」を充実する	在宅療養者の情報を共有するための統一的なフォーマットを作成する	医療と介護の連携マニュアルを作成する	医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する	医療関係者と介護関係者が一緒に学ぶ研修の場を確保する	関係者のためのインターネット上で連絡がとれる仕組みを推進する	医療と介護が相互理解のため、それぞれがお互いの分野の知識を深める研修を行う	その他	無回答	
全体	273	46.2	15.4	29.3	24.9	26.7	12.5	28.6	11.7	3.3	12.8	
所属医療機関(6種)	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）	15	66.7	13.3	33.3	20.0	20.0	13.3	26.7	—	13.3	—
	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無）	83	48.2	15.7	24.1	22.9	16.9	4.8	33.7	12.0	4.8	14.5
	歯科診療所	80	38.8	23.8	32.5	37.5	25.0	15.0	17.5	11.3	3.8	11.3
	薬局	66	40.9	12.1	40.9	22.7	34.8	18.2	34.8	10.6	—	9.1
	訪問看護ステーション	17	82.4	—	5.9	5.9	41.2	5.9	47.1	23.5	—	11.8
	病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）	11	27.3	—	9.1	—	45.5	18.2	9.1	18.2	—	54.5
職種(6種)	医師	93	51.6	15.1	24.7	22.6	19.4	6.5	34.4	10.8	5.4	10.8
	歯科医師	82	39.0	23.2	32.9	37.8	24.4	14.6	17.1	11.0	3.7	12.2
	薬剤師	65	40.0	12.3	41.5	23.1	35.4	18.5	35.4	10.8	—	9.2
	看護師	9	55.6	—	—	11.1	11.1	11.1	44.4	—	11.1	22.2
	訪問看護師	13	84.6	—	7.7	—	53.8	7.7	30.8	30.8	—	15.4
	医療ソーシャルワーカー	7	28.6	—	—	—	42.9	14.3	14.3	28.6	—	57.1

問9 在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える事業所や介護職は何ですか。(2つまでに○)

「ケアマネジャー（介護支援専門員）」の割合が 58.2%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が 44.3%、「ヘルパー（訪問介護）」の割合が 18.7%となっています。

回答者数 = 273



【クロス別】

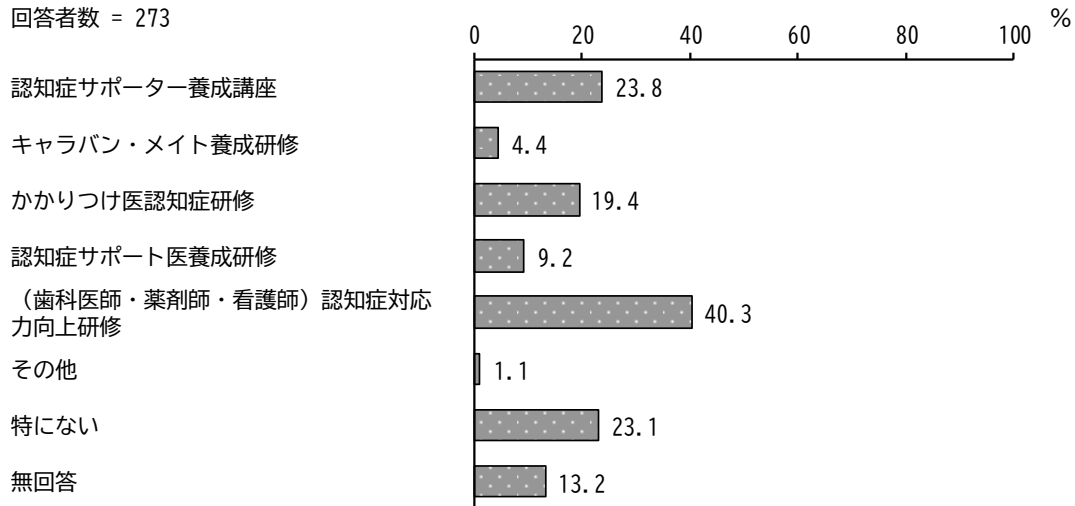
クロス別にみると、一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）で「ケアマネジャー（介護支援専門員）」の割合が、薬剤師で「ヘルパー（訪問介護）」の割合が、薬局で「ヘルパー（訪問介護）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ケアマネジャー (介護支援専門員)	地域包括支援センター	ショートステイ (短期入所) 事業所	通所介護事業所	ヘルパー (訪問介護)	生活支援コーディネーター	福祉用具事業所・福祉用具専門相談員	その他	無回答
全体	273	58.2	44.3	6.6	5.9	18.7	11.7	2.2	3.7	13.9
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出有)	15	86.7	53.3	13.3	6.7	13.3	13.3	—	—
	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出無)	83	55.4	43.4	9.6	8.4	10.8	10.8	3.6	2.4
	歯科診療所	80	57.5	43.8	5.0	6.3	20.0	8.8	1.3	5.0
	薬局	66	59.1	45.5	3.0	3.0	30.3	16.7	3.0	3.0
	訪問看護ステーション	17	58.8	41.2	5.9	5.9	17.6	17.6	—	11.8
	病院の退院支援担当者 (病院の地域連携室、看護師等)	11	45.5	45.5	9.1	—	9.1	—	—	—
職種 (6種)	医師	93	60.2	46.2	8.6	7.5	11.8	11.8	2.2	2.2
	歯科医師	82	57.3	42.7	6.1	7.3	19.5	8.5	2.4	4.9
	薬剤師	65	58.5	46.2	3.1	3.1	30.8	16.9	3.1	3.1
	看護師	9	44.4	11.1	11.1	—	11.1	11.1	—	22.2
	訪問看護師	13	61.5	46.2	—	7.7	23.1	15.4	—	—
	医療ソーシャルワーカー	7	42.9	57.1	14.3	—	—	—	—	—

問10 今後、次のような認知症や認知症の介護に関する研修があれば受けていますか。  
(いくつでも○)

「(歯科医師・薬剤師・看護師) 認知症対応力向上研修」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「認知症サポーター養成講座」の割合が 23.8%、「特にない」の割合が 23.1%となっています。



【クロス別】

クロス別にみると、訪問看護師で「かかりつけ医認知症研修」「認知症サポーター養成講座」の割合が、訪問看護ステーションで「認知症サポーター養成講座」の割合が高くなっています。

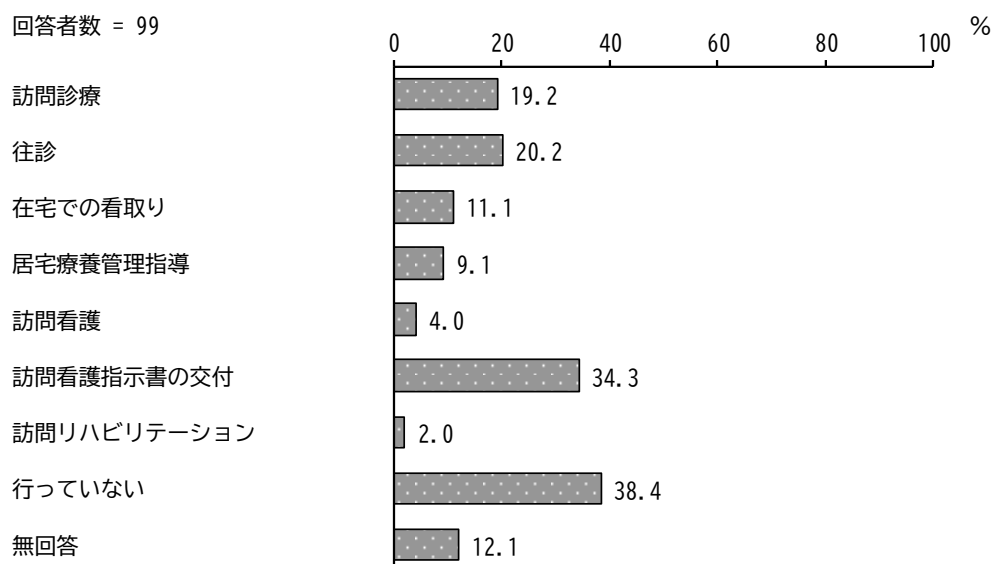
単位：%

区分	回答者数(件)	認知症サポーター養成講座	キャラバン・メイト養成研修	かかりつけ医認知症研修	認知症サポート医養成研修	認知症対応力向上研修 (歯科医師・薬剤師・看護師)	その他	特にない	無回答
全体	273	23.8	4.4	19.4	9.2	40.3	1.1	23.1	13.2
所属医療機関 (6種)	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出有)	15	46.7	6.7	33.3	20.0	—	40.0	—
	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出無)	83	9.6	1.2	27.7	12.0	—	39.8	16.9
	歯科診療所	80	17.5	1.3	15.0	6.3	61.3	2.5	12.5
	薬局	66	34.8	12.1	10.6	9.1	62.1	1.5	10.6
	訪問看護ステーション	17	52.9	5.9	35.3	—	64.7	—	—
	病院の退院支援担当者(病院の地域連携室、看護師等)	11	27.3	—	—	—	—	—	27.3
職種 (6種)	医師	93	14.0	2.2	30.1	14.0	—	39.8	15.1
	歯科医師	82	18.3	1.2	14.6	6.1	62.2	2.4	12.2
	薬剤師	65	35.4	12.3	9.2	9.2	63.1	1.5	10.8
	看護師	9	33.3	11.1	—	11.1	33.3	—	22.2
	訪問看護師	13	53.8	—	53.8	—	61.5	—	—
	医療ソーシャルワーカー	7	42.9	—	—	—	—	—	14.3

### (3) 診療所（医師の方）について

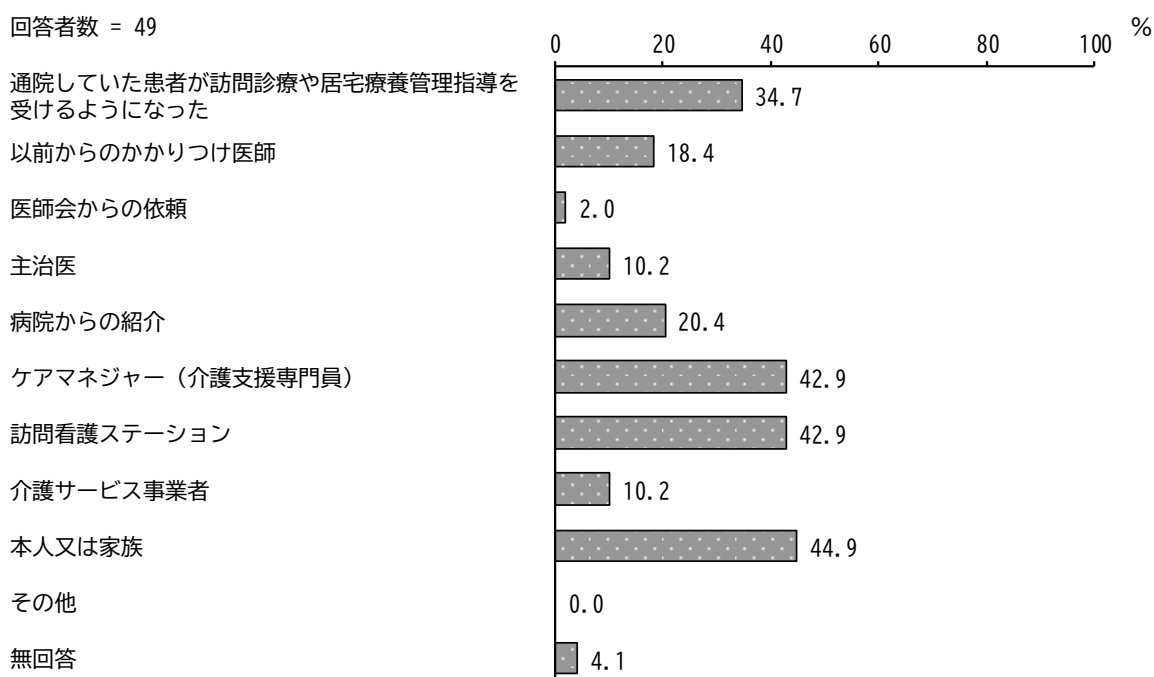
問 11 現在、あなたの診療所が行っている在宅医療はどれですか。（いくつでも○）

「行っていない」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「訪問看護指示書の交付」の割合が 34.3%、「往診」の割合が 20.2%となっています。



問 11-1 問 11 で「行っていない」以外をお答えの方におたずねします。訪問診療や居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。（いくつでも○）

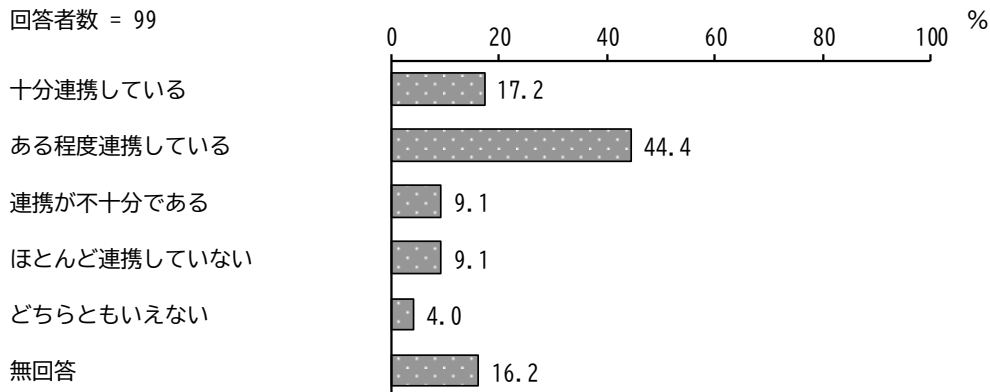
「本人又は家族」の割合が 44.9%と最も高く、次いで「ケアマネジャー（介護支援専門員）」、「訪問看護ステーション」の割合が 42.9%となっています。



問 12 あなたの診療所と、他の医療機関との連携はとれていますか。(1つに○)

「ある程度連携している」の割合が44.4%と最も高く、次いで「十分連携している」の割合が17.2%となっています。

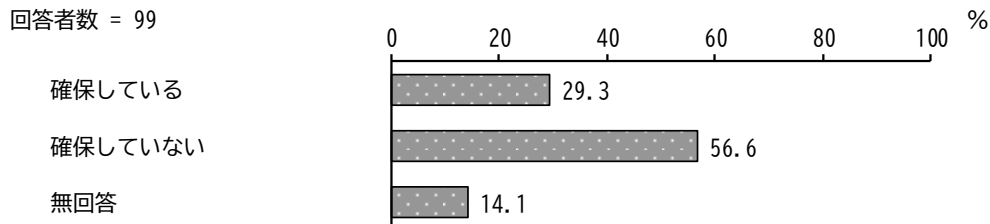
回答者数 = 99



問 13 あなたの診療所では、介護関係者との情報交換の機会を確保していますか。(1つに○)

「確保している」の割合が29.3%、「確保していない」の割合が56.6%となっています。

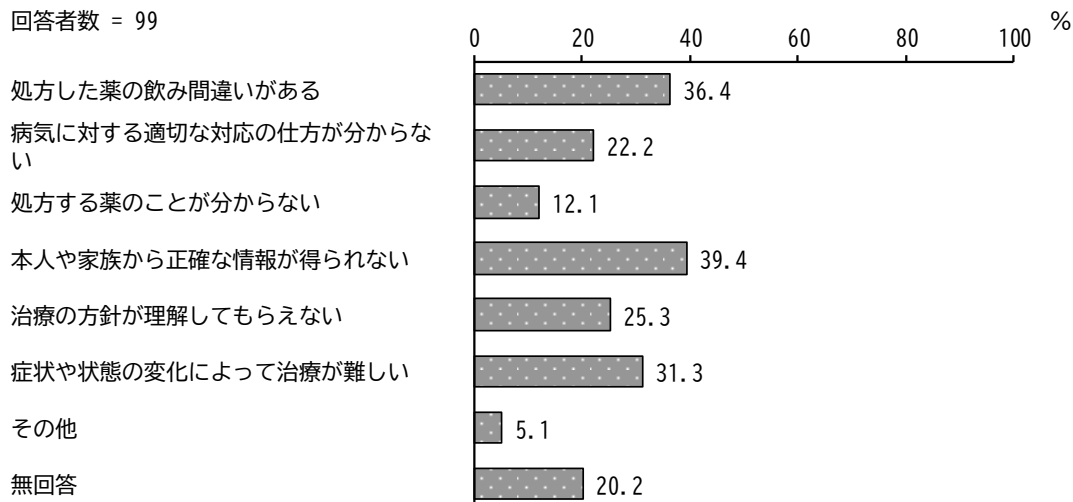
回答者数 = 99



問 14 認知症の方を治療するとき困ることは何ですか。(いくつでも○)

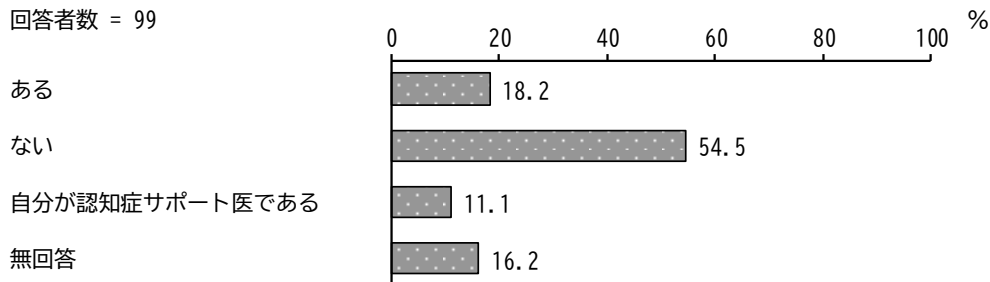
「本人や家族から正確な情報が得られない」の割合が39.4%と最も高く、次いで「処方した薬の飲み間違いがある」の割合が36.4%、「症状や状態の変化によって治療が難しい」の割合が31.3%となっています。

回答者数 = 99



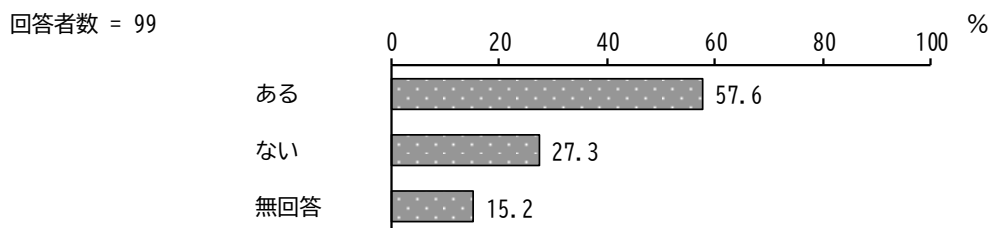
問 15 認知症サポート医に相談をしたことがありますか。(1つに○)

「ない」の割合が54.5%と最も高く、次いで「ある」の割合が18.2%、「自分が認知症サポート医である」の割合が11.1%となっています。



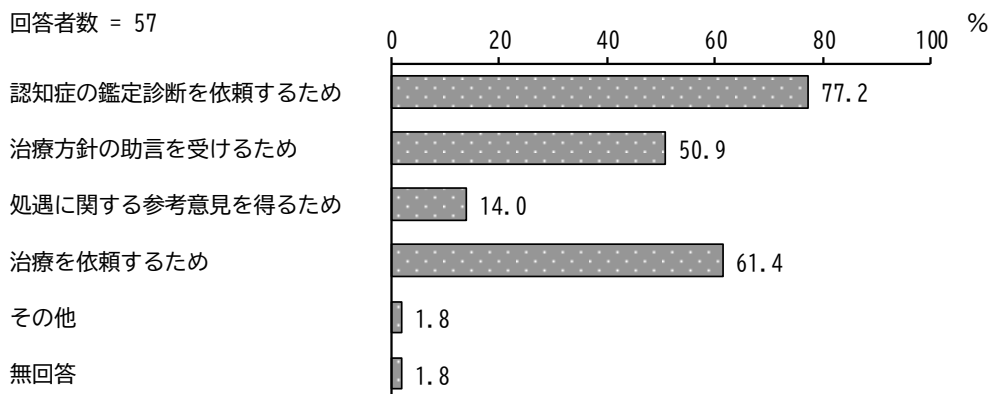
問 16 認知症の方の治療を専門医に紹介することはありますか。(1つに○)

「ある」の割合が57.6%、「ない」の割合が27.3%となっています。



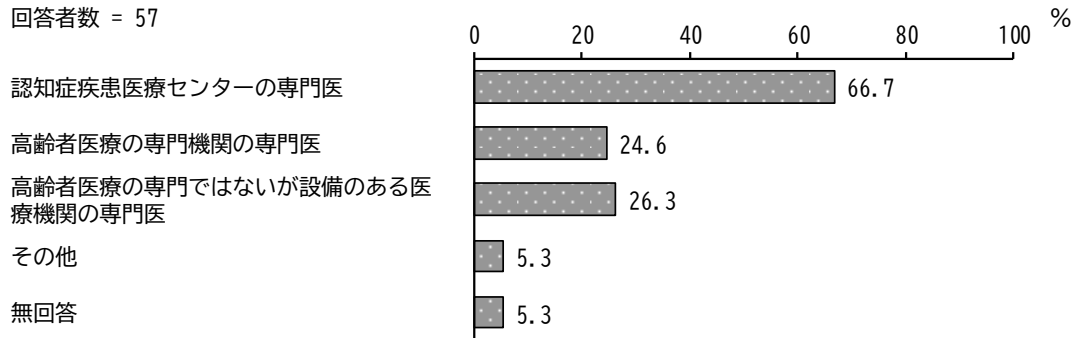
問 16-1 問 16 で「ある」と回答した方におたずねします。どのような目的で紹介をしますか。(いくつでも○)

「認知症の鑑定診断を依頼するため」の割合が77.2%と最も高く、次いで「治療を依頼するため」の割合が61.4%、「治療方針の助言を受けるため」の割合が50.9%となっています。



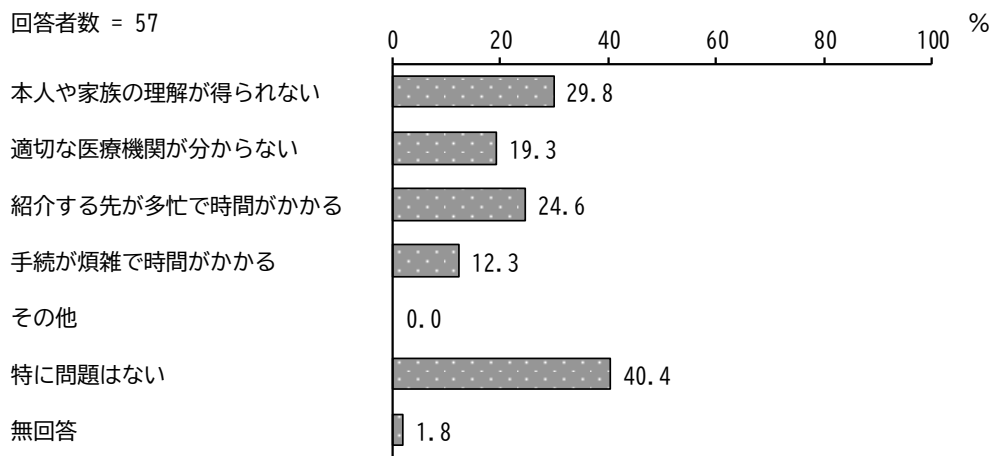
問 16-2 どのような機関の専門医ですか。(いくつでも○)

「認知症疾患医療センターの専門医」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「高齢者医療の専門ではないが設備のある医療機関の専門医」の割合が 26.3%、「高齢者医療の専門機関の専門医」の割合が 24.6%となっています。



問 16-3 そのときどのようなことが問題になりますか。(いくつでも○)

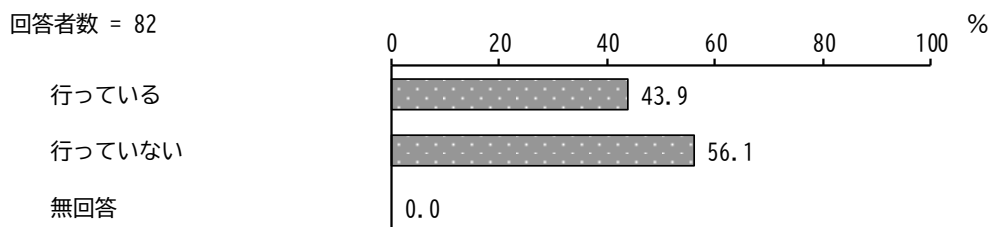
「特に問題はない」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「本人や家族の理解が得られない」の割合が 29.8%、「紹介する先が多忙で時間がかかる」の割合が 24.6%となっています。



#### (4) 歯科診療所（歯科医師の方）について

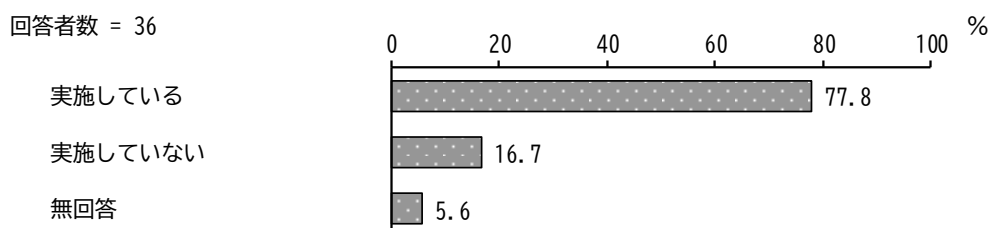
問 17 あなたの歯科診療所では、訪問歯科診療や居宅療養管理指導を行っていますか。  
(1つに○)

「行っている」の割合が 43.9%、「行っていない」の割合が 56.1%となっています。



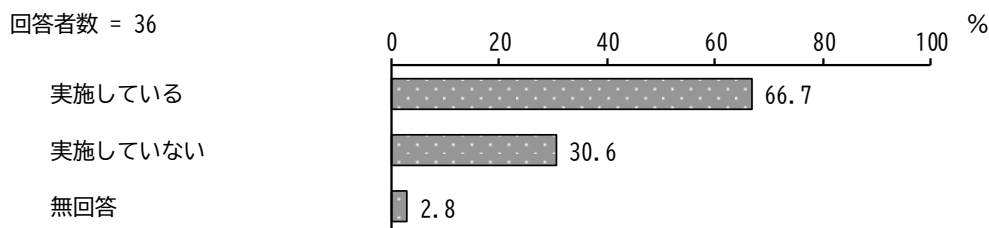
問 17-1 問 17で「行っている」とお答えの方におたずねします。あなたの歯科診療所では、訪問時に口腔衛生指導等を実施していますか。(1つに○)

「実施している」の割合が 77.8%、「実施していない」の割合が 16.7%となっています。



問 17-2 あなたの歯科診療所では、歯科衛生士による訪問歯科衛生指導及び居宅療養管理指導を実施していますか。(1つに○)

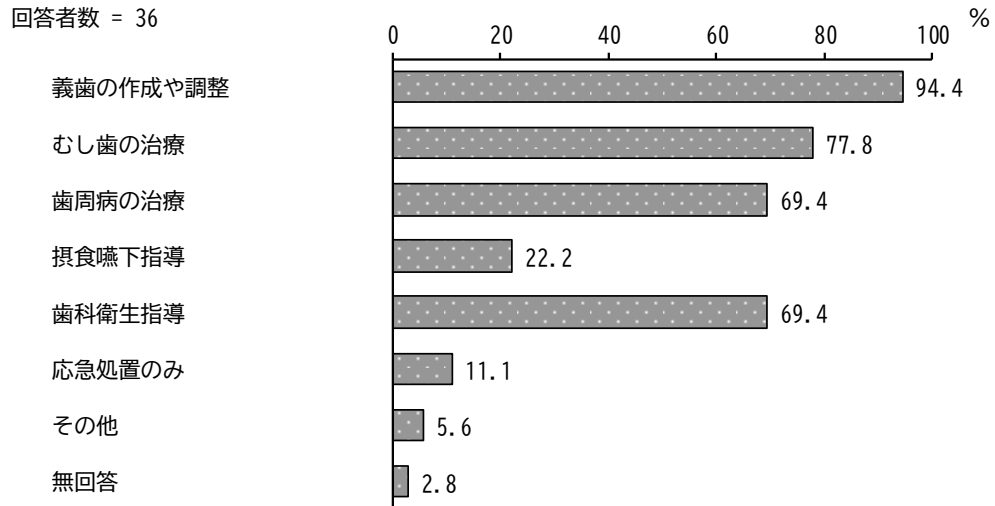
「実施している」の割合が 66.7%、「実施していない」の割合が 30.6%となっています。





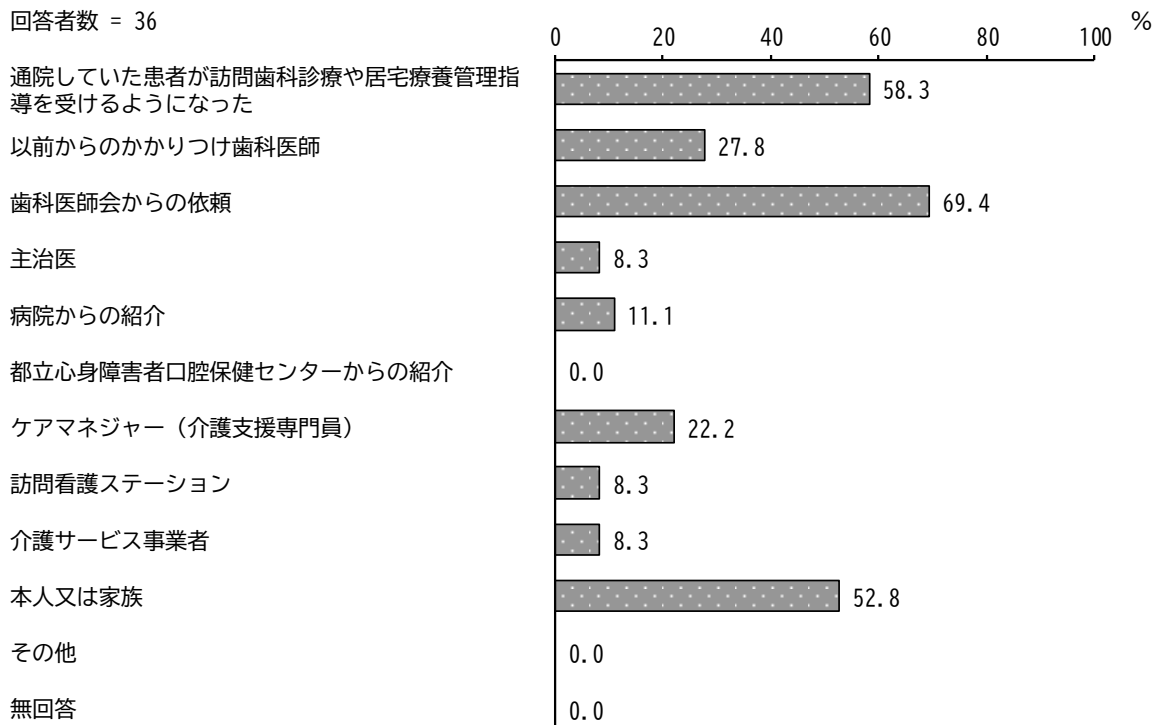
問 17-3 訪問歯科診療や居宅療養管理指導で対応可能な治療は何ですか。(いくつでも○)

「義歯の作成や調整」の割合が 94.4%と最も高く、次いで「むし歯の治療」の割合が 77.8%、「歯周病の治療」、「歯科衛生指導」の割合が 69.4%となっています。



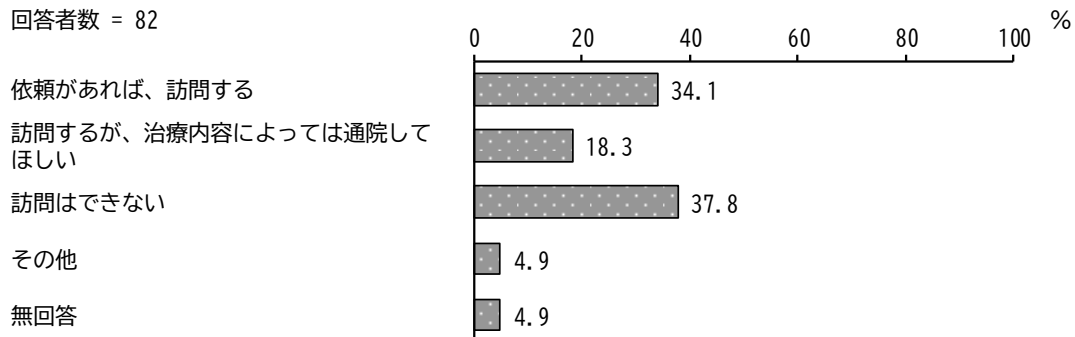
問 17-4 訪問歯科診療や居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。(いくつでも○)

「歯科医師会からの依頼」の割合が 69.4%と最も高く、次いで「通院していた患者が訪問歯科診療や居宅療養管理指導を受けるようになった」の割合が 58.3%、「本人又は家族」の割合が 52.8%となっています。



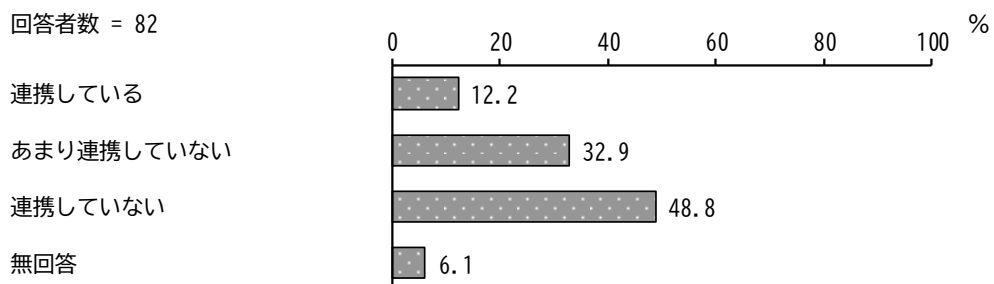
問 18 今後、依頼があった場合に訪問歯科診療や居宅療養管理指導の実施は可能ですか。(1つに○)

「訪問はできない」の割合が37.8%と最も高く、次いで「依頼があれば、訪問する」の割合が34.1%、「訪問するが、治療内容によっては通院してほしい」の割合が18.3%となっています。



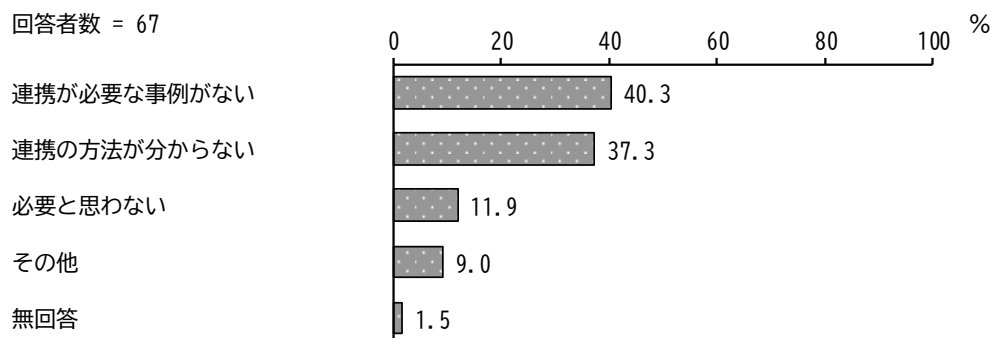
問 19 あなたの歯科診療所では、在宅で療養生活を送っている府中市民の方の主治医(かかりつけ医)と連携していますか。(1つに○)

「連携していない」の割合が48.8%と最も高く、次いで「あまり連携していない」の割合が32.9%、「連携している」の割合が12.2%となっています。



問 19-1 問 19で「あまり連携していない」又は「連携していない」とお答えの方におたずねします。その理由は何ですか。(1つに○)

「連携が必要な事例がない」の割合が40.3%と最も高く、次いで「連携の方法が分からない」の割合が37.3%、「必要と思わない」の割合が11.9%となっています。

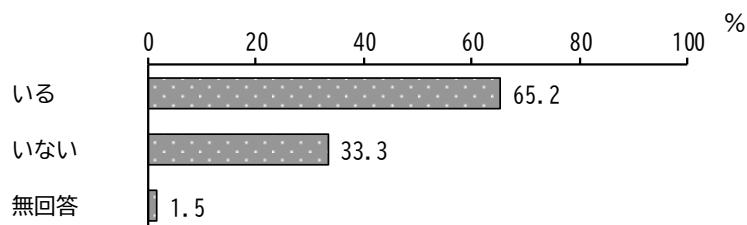


## (5) 薬局（薬剤師の方）について

問 20 あなたの薬局を利用されている方の中に、現在、在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）を利用している府中市民はいますか。（1つに○）

「いる」の割合が 65.2%、「いない」の割合が 33.3%となっています。

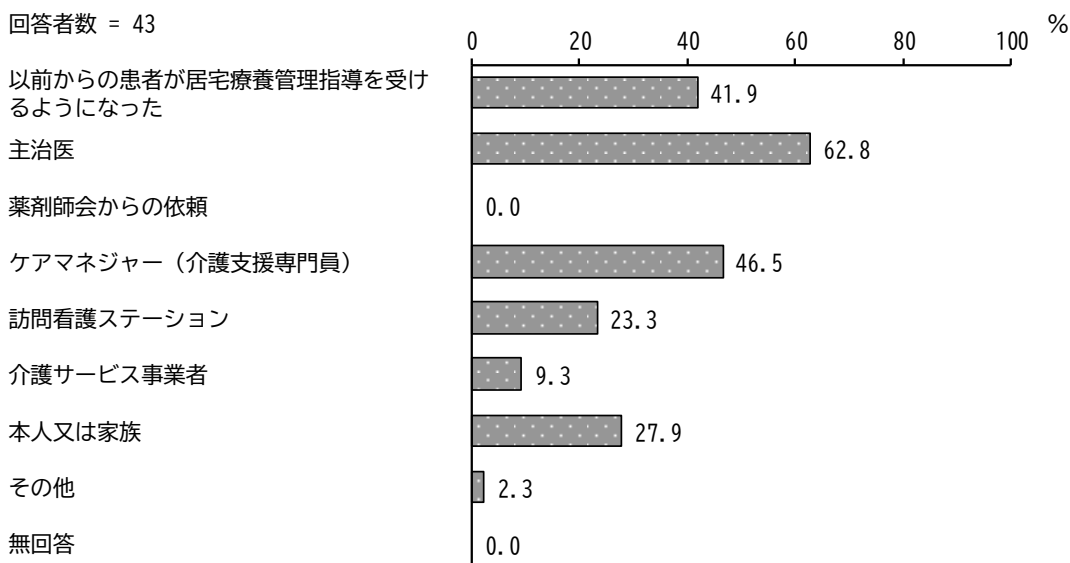
回答者数 = 66



問 20-1 問 20 で「いる」とお答えの方におたずねします。居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。（いくつでも○）

「主治医」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「ケアマネジャー（介護支援専門員）」の割合が 46.5%、「以前からの患者が居宅療養管理指導を受けるようになった」の割合が 41.9%となっています。

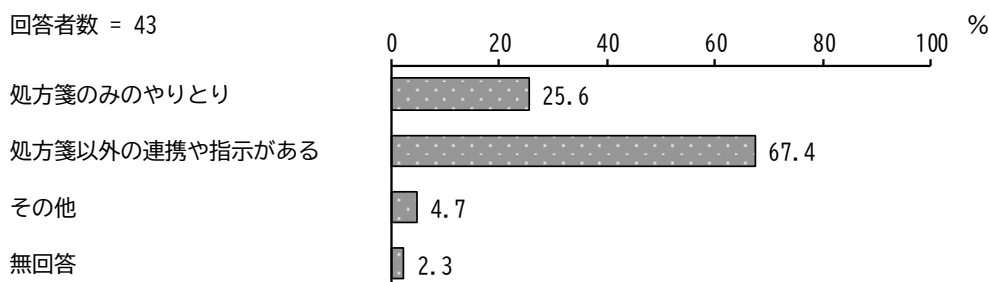
回答者数 = 43



問 20-2 医師との連携をどのようにしていますか。（1つに○）

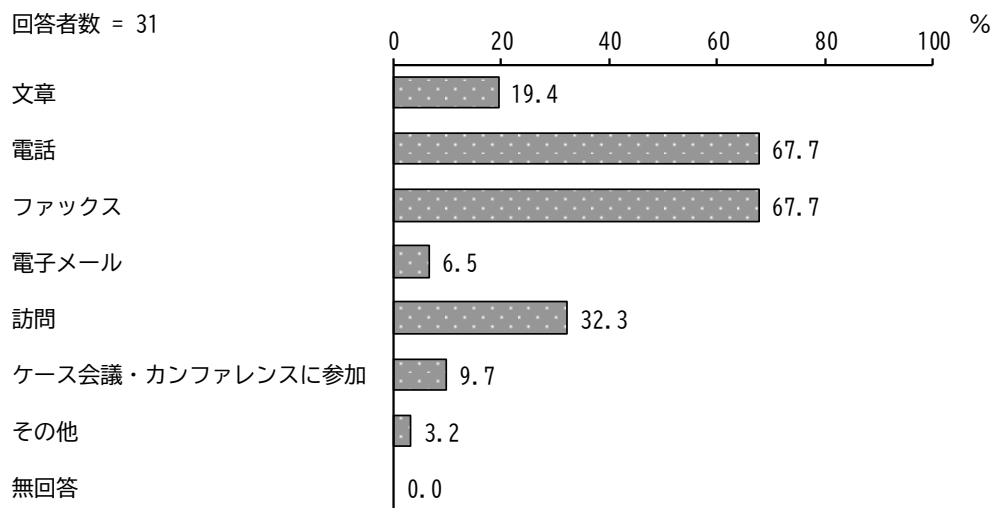
「処方箋のみのやりとり」の割合が 25.6%、「処方箋以外の連携や指示がある」の割合が 67.4%となっています。

回答者数 = 43



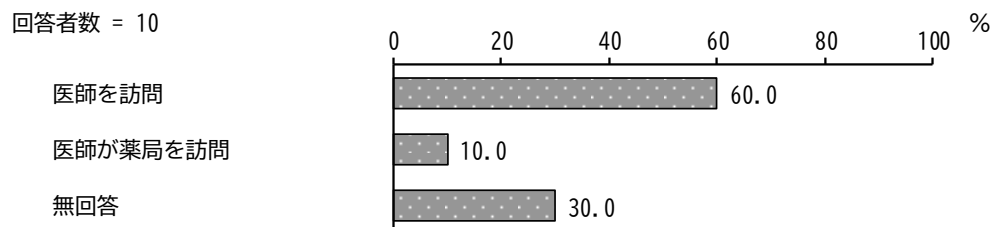
問 20-3 問 20-2 で「処方箋以外の連携や指示がある」又は「その他」とお答えの方におたずねします。具体的にどのような手段が用いられていますか。(いくつでも○)

「電話」、「ファックス」の割合が 67.7%と最も高く、次いで「訪問」の割合が 32.3%となっています。



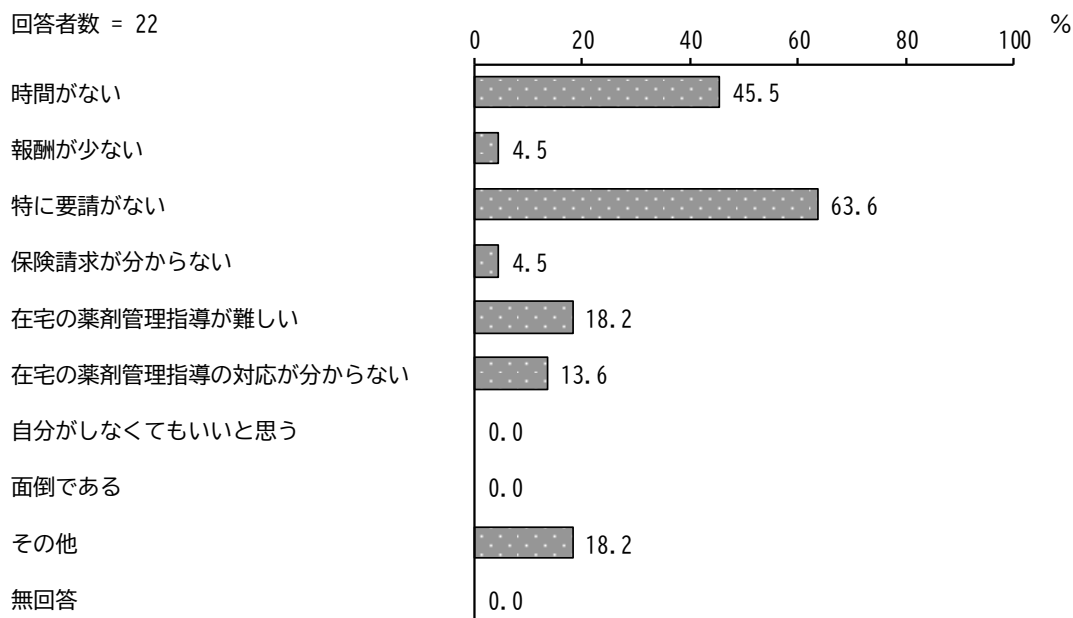
#### 訪問の方法

「医師を訪問」の割合が 60.0%、「医師が薬局を訪問」の割合が 10.0%となっています。



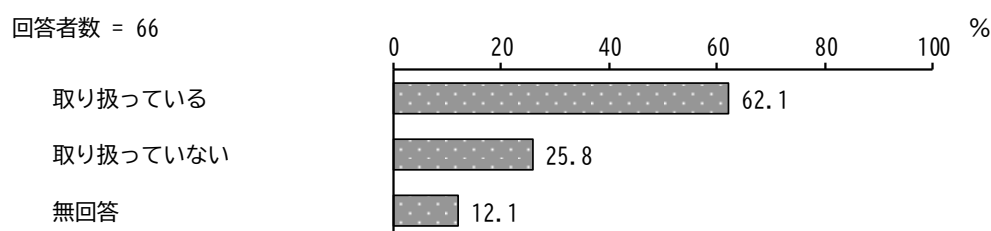
問 20-4 問 20 で「いない」とお答えの方におたずねします。いない理由は次のどれですか。(いくつでも○)

「特に要請がない」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「時間がない」の割合が 45.5%、「在宅の薬剤管理指導が難しい」の割合が 18.2%となっています。



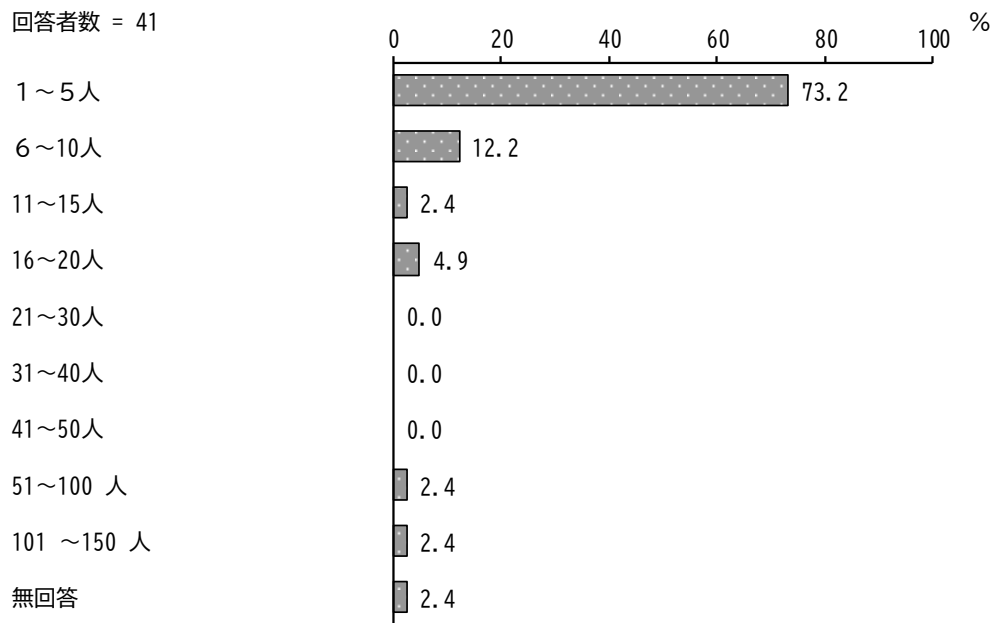
問 21 府中市内で訪問診療を行う在宅療養支援診療所の処方箋を取り扱っていますか。(1つに○)

「取り扱っている」の割合が 62.1%、「取り扱っていない」の割合が 25.8%となっています。



問 21 取り扱っている人数（1か月平均）

「1～5人」の割合が73.2%と最も高く、次いで「6～10人」の割合が12.2%となっています。

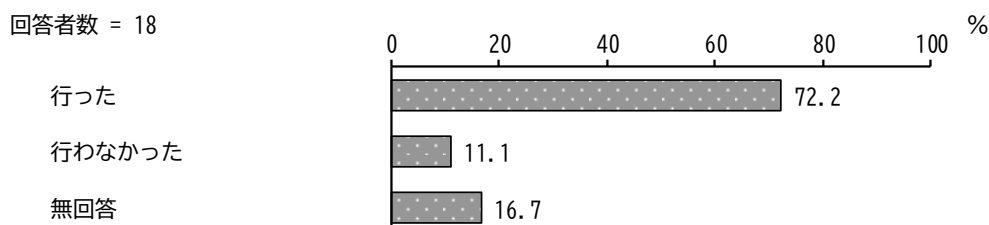


## (6) 訪問看護ステーション（訪問看護師の方）について

問 22 あなたの訪問看護ステーションでの、令和4年11月中の活動状況をお答えください。(①～③それぞれ1つに○)

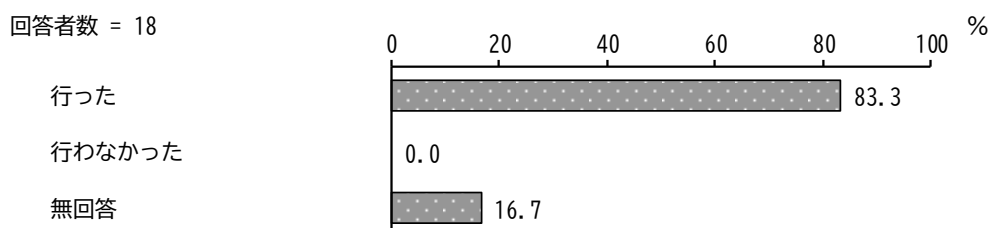
### ①緊急対応時の訪問看護

「行った」の割合が72.2%、「行わなかった」の割合が11.1%となっています。



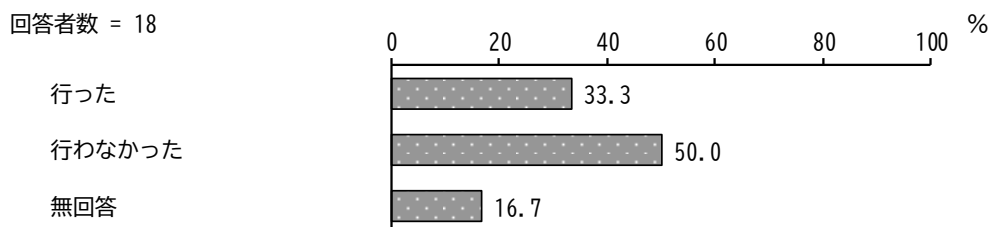
### ②医療保険による訪問看護

「行った」の割合が83.3%、「行わなかった」の割合が0.0%となっています。



### ③在宅での看取り

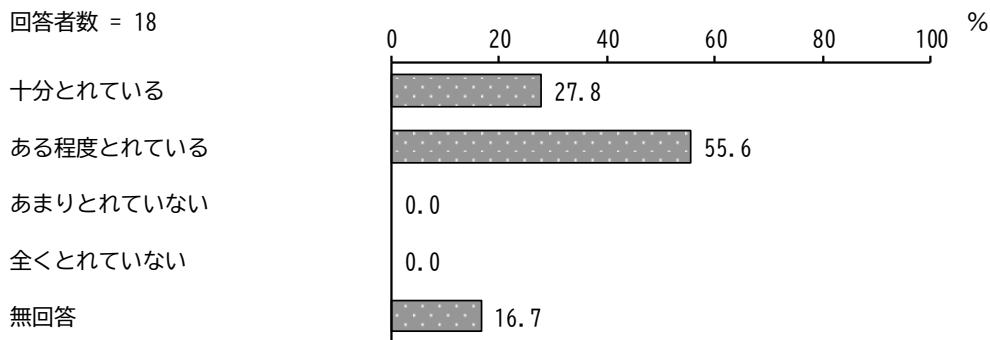
「行った」の割合が33.3%、「行わなかった」の割合が50.0%となっています。



問 23 あなたの訪問看護ステーションでは、在宅医療を実施している医療機関とどのような連携をとっていますか。(ア～ウそれぞれ1つに○)

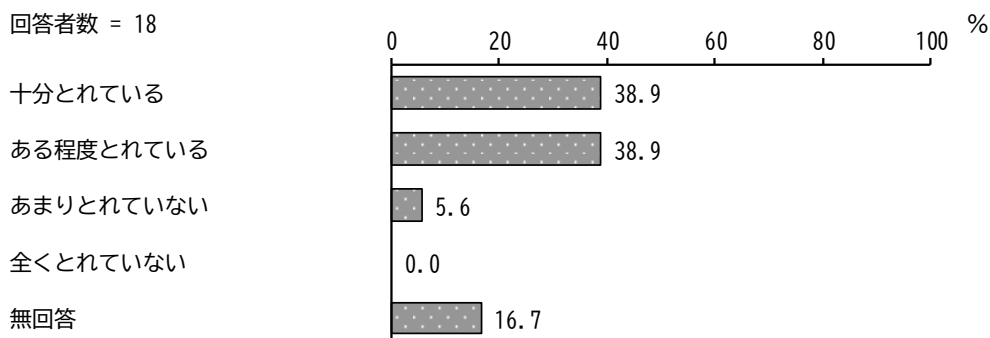
ア. 在宅療養者の医療と看護に関する情報の交換

「ある程度とれている」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「十分とれている」の割合が 27.8%となっています。



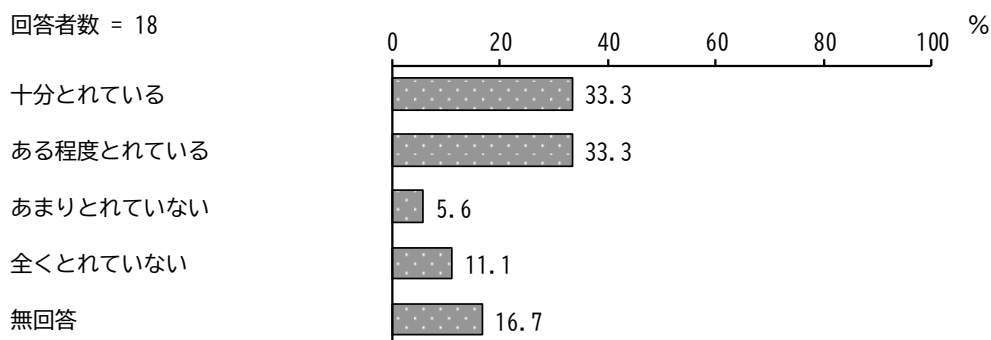
イ. 在宅療養者の急変時の対応

「十分とれている」、「ある程度とれている」の割合が 38.9%と最も高くなっています。



ウ. 24時間の支援体制

「十分とれている」、「ある程度とれている」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「全くとれていない」の割合が 11.1%となっています。





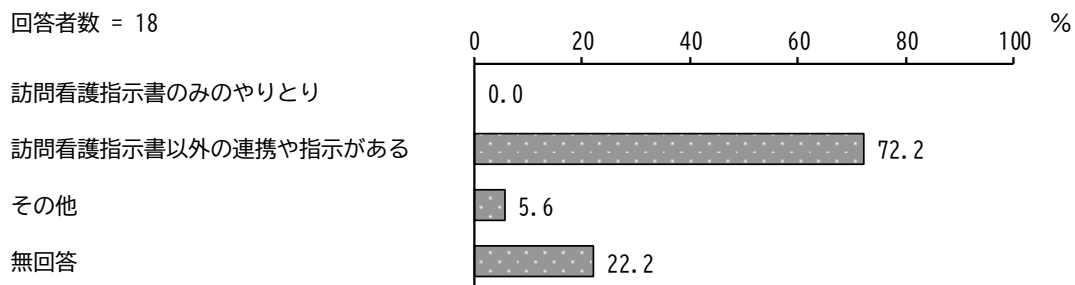
問 23-1 在宅医療を実施している医療機関との連携がとれていない理由として特筆すべきことがございましたら、ご自由にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、1件の回答があった。

内容	件数
クリニックの医師との連絡方法をどうしたら良いか迷う。(診療時間中)	1

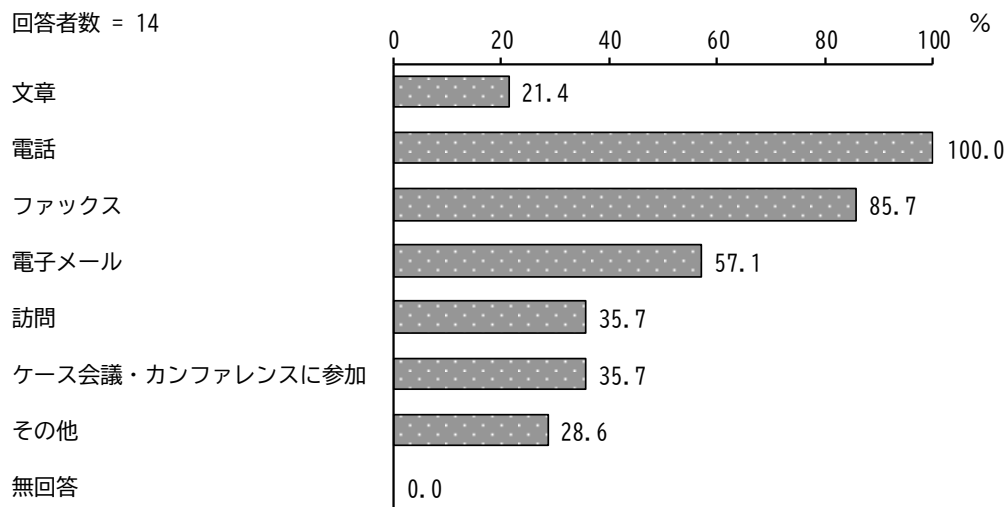
問 24 医師との連携をどのようにしていますか。(1つに○)

「訪問看護指示書以外の連携や指示がある」の割合が 72.2%と最も高く、次いで「無回答」の割合が 22.2%となっています。



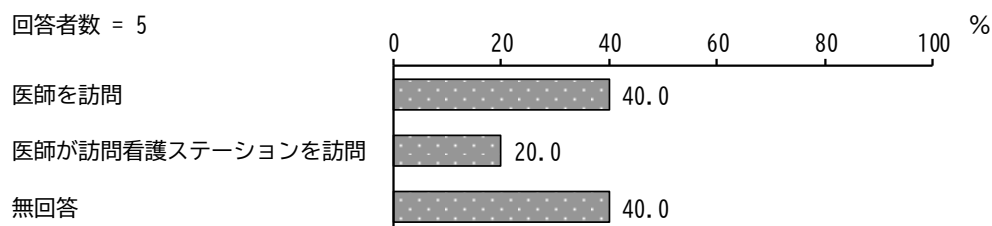
問 24-1 問 24 で「訪問看護指示書以外の連携や指示がある」又は「その他」とお答えの方におたずねします。具体的にどのような手段が用いられていますか。(いくつでも○)

「電話」の割合が 100.0%と最も高く、次いで「ファックス」の割合が 85.7%、「電子メール」の割合が 57.1%となっています。



訪問の方法

「医師を訪問」が 2 件、「医師が訪問看護ステーションを訪問」が 1 件となっています。

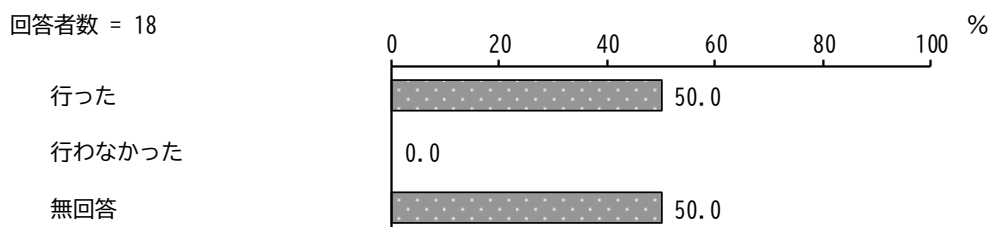


## (7) 退院支援担当者（医療ソーシャルワーカー、看護師）がいる病院について

問 25 貴医院における令和4年11月中の活動状況をお答えください。(①～④それぞれ1つに○)

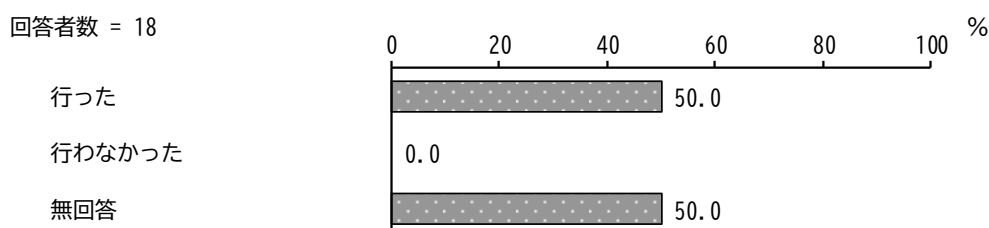
### ①退院支援の相談

「行った」の割合が50.0%、「行わなかった」の割合が0.0%となっています。



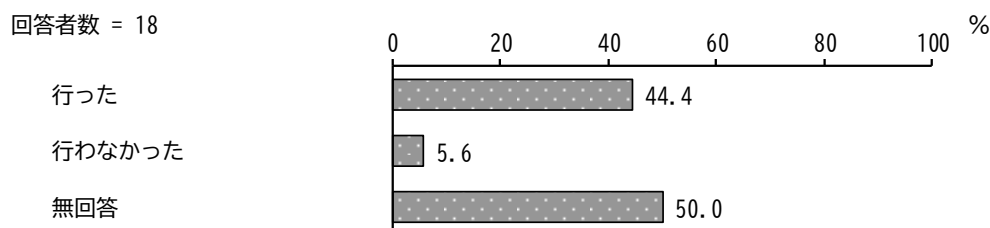
### ②退院前（時）カンファレンス

「行った」の割合が50.0%、「行わなかった」の割合が0.0%となっています。



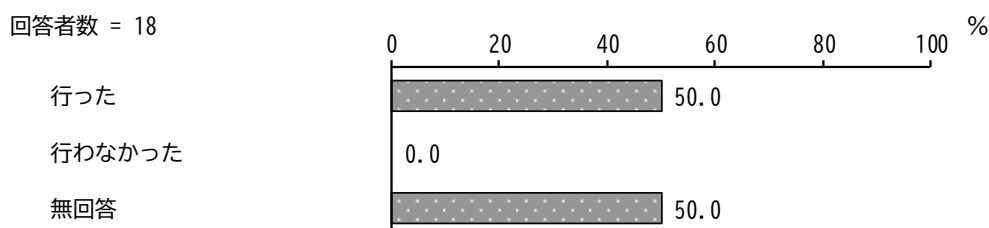
### ③退院支援の訪問診療の調整

「行った」の割合が44.4%、「行わなかった」の割合が5.6%となっています。



### ④退院時の訪問看護の調整

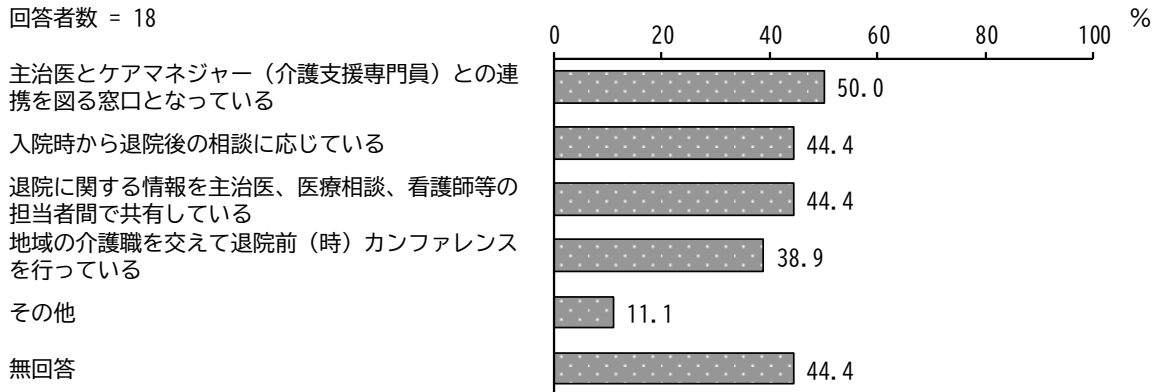
「行った」の割合が50.0%、「行わなかった」の割合が0.0%となっています。



問 26 貴医院では、どのような地域連携活動を行っていますか。(いくつでも○)

「主治医とケアマネジャー（介護支援専門員）との連携を図る窓口となっている」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「入院時から退院後の相談に応じている」、「退院に関する情報を主治医、医療相談、看護師等の担当者間で共有している」の割合が 44.4%となっています。

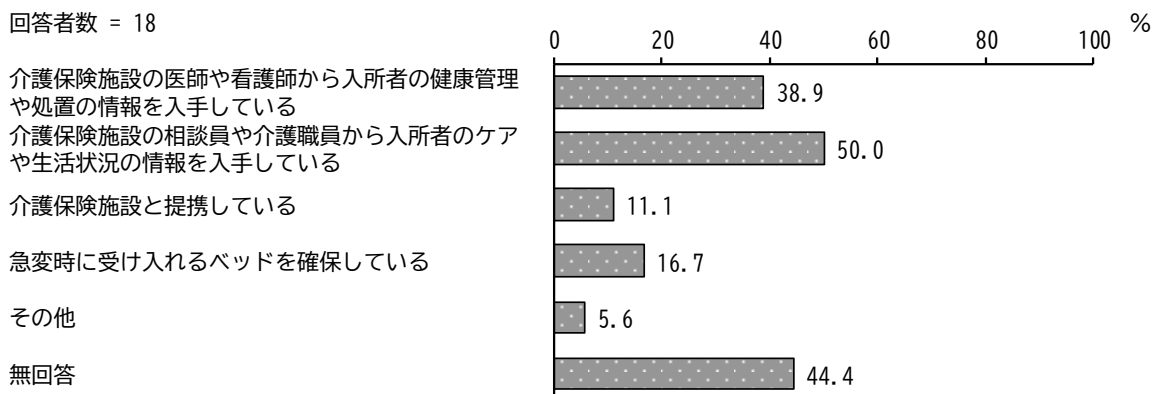
回答者数 = 18



問 27 介護保険施設とどのように連携していますか。(いくつでも○)

「介護保険施設の相談員や介護職員から入所者のケアや生活状況の情報を入手している」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「介護保険施設の医師や看護師から入所者の健康管理や処置の情報を入手している」の割合が 38.9%、「急変時に受け入れるベッドを確保している」の割合が 16.7%となっています。

回答者数 = 18

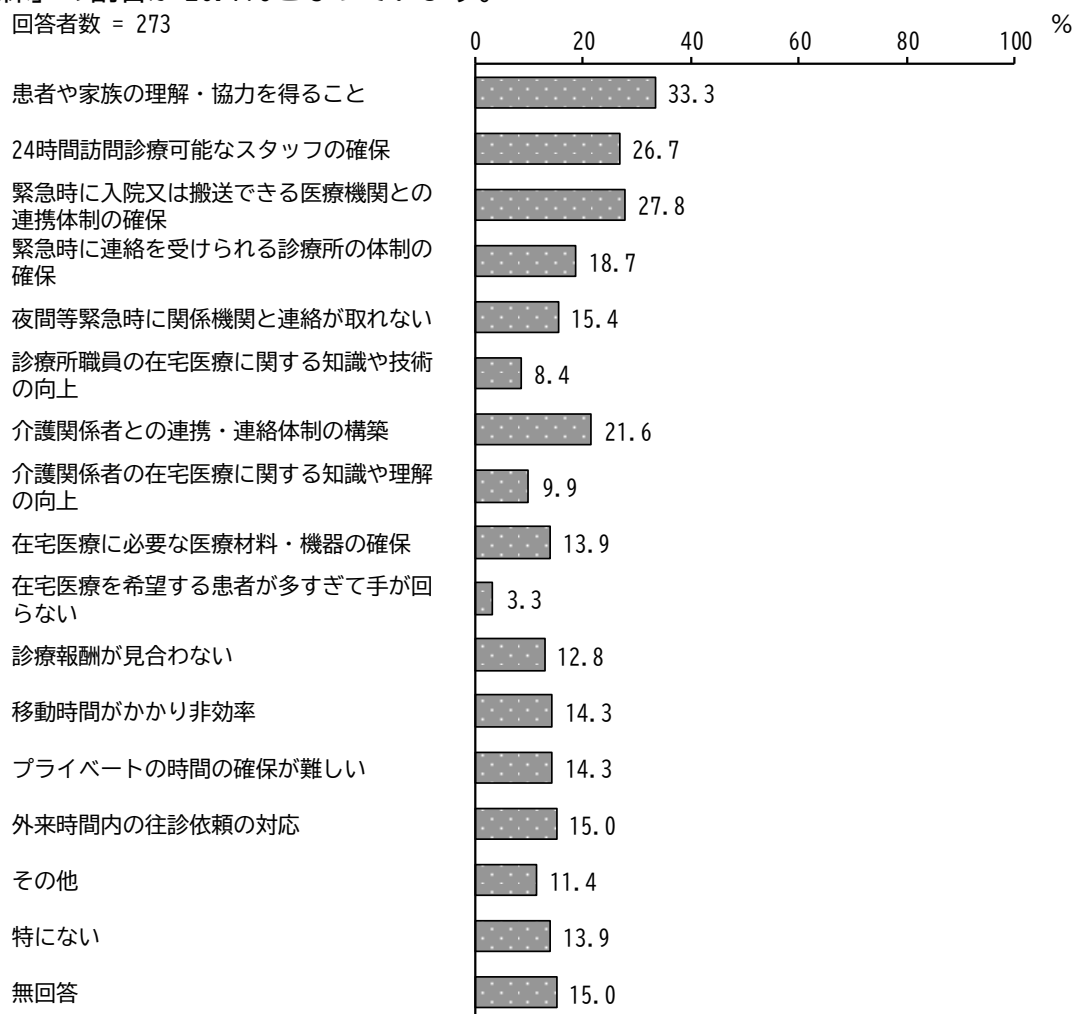


## (8) 在宅医療の実施状況について

問 28 在宅医療を行われている上で、どの様な苦勞がありますか。(いくつでも○)

「患者や家族の理解・協力を得ること」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「緊急時に入院又は搬送できる医療機関との連携体制の確保」の割合が 27.8%、「24 時間訪問診療可能なスタッフの確保」の割合が 26.7%となっています。

回答者数 = 273



【クロス別】

クロス別にみると、一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）で「緊急時に入院又は搬送できる医療機関との連携体制の確保」「患者や家族の理解・協力を得ること」の割合が、訪問看護ステーションで「緊急時に入院又は搬送できる医療機関との連携体制の確保」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	患者や家族の理解・協力を得ること	24時間訪問診療可能なスタッフの確保	緊急時に入院又は搬送できる医療機関との連携体制の確保	緊急時に連絡を受けられる診療所の体制の確保	夜間等緊急時に関係機関と連絡が取れない	診療所職員の在宅医療に関する知識や技術の向上	介護関係者との連携・連絡体制の構築	介護関係者の在宅医療に関する知識や理解の向上	
全体	273	33.3	26.7	27.8	18.7	15.4	8.4	21.6	9.9	
所属医療機関(6種)	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出有)	15	66.7	46.7	73.3	26.7	6.7	—	13.3	13.3
	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出無)	83	24.1	22.9	38.6	24.1	16.9	7.2	15.7	4.8
	歯科診療所	80	30.0	10.0	16.3	13.8	6.3	8.8	16.3	10.0
	薬局	66	39.4	45.5	13.6	15.2	24.2	10.6	37.9	13.6
	訪問看護ステーション	17	35.3	29.4	52.9	29.4	29.4	17.6	23.5	5.9
	病院の退院支援担当者(病院の地域連携室、看護師等)	11	45.5	36.4	18.2	9.1	9.1	—	18.2	27.3
職種(6種)	医師	93	29.0	25.8	44.1	23.7	14.0	5.4	15.1	5.4
	歯科医師	82	30.5	9.8	15.9	13.4	6.1	8.5	15.9	9.8
	薬剤師	65	38.5	46.2	13.8	15.4	24.6	10.8	38.5	13.8
	看護師	9	33.3	44.4	55.6	22.2	44.4	11.1	22.2	22.2
	訪問看護師	13	38.5	15.4	46.2	38.5	15.4	15.4	23.1	7.7
	医療ソーシャルワーカー	7	42.9	14.3	—	—	—	—	14.3	14.3

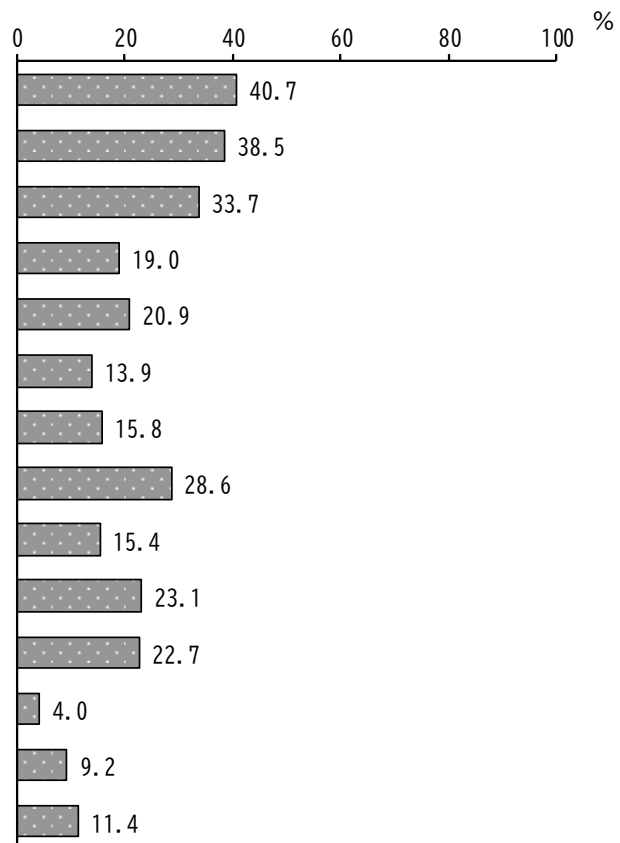
区分	在宅医療に必要な医療材料・機器の確保	在宅医療を希望する患者が多すぎて手が回らない	診療報酬が見合わない	移動時間がかかり非効率	難しい プライベートの時間の確保が	外来時間内の往診依頼の対応	その他	特にない	無回答	
全体	13.9	3.3	12.8	14.3	14.3	15.0	11.4	13.9	15.0	
所属医療機関(6種)	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出有)	6.7	13.3	13.3	33.3	20.0	33.3	6.7	—	—
	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出無)	10.8	1.2	8.4	8.4	16.9	14.5	13.3	24.1	9.6
	歯科診療所	20.0	1.3	10.0	18.8	6.3	11.3	12.5	11.3	27.5
	薬局	7.6	4.5	19.7	15.2	15.2	18.2	7.6	12.1	7.6
	訪問看護ステーション	29.4	5.9	17.6	5.9	35.3	17.6	11.8	—	17.6
	病院の退院支援担当者(病院の地域連携室、看護師等)	18.2	9.1	18.2	9.1	9.1	—	18.2	9.1	18.2
職種(6種)	医師	10.8	2.2	7.5	9.7	15.1	16.1	12.9	21.5	8.6
	歯科医師	19.5	1.2	9.8	19.5	7.3	12.2	12.2	11.0	26.8
	薬剤師	7.7	4.6	18.5	15.4	15.4	18.5	7.7	12.3	7.7
	看護師	22.2	—	22.2	—	55.6	—	22.2	—	11.1
	訪問看護師	30.8	7.7	23.1	7.7	23.1	23.1	7.7	—	23.1
	医療ソーシャルワーカー	—	—	—	—	—	—	—	14.3	28.6

問 29 今後、在宅医療・在宅ケアを推進するために、どの様な取組が重要だと思いますか。(いくつでも○)

「複数の医療機関が在宅医療を分担しあう体制や情報提供手段を構築する」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「緊急時の受け入れ等、専門医療機関との連携体制を構築する」の割合が 38.5%、「在宅生活を支える訪問看護など介護保険サービスの充実を図る」の割合が 33.7%となっています。

回答者数 = 273

- 複数の医療機関が在宅医療を分担しあう体制や情報提供手段を構築する
- 緊急時の受け入れ等、専門医療機関との連携体制を構築する
- 在宅生活を支える訪問看護など介護保険サービスの充実を図る
- 地域の診療所全体の在宅医療に関する知識や技術の向上を図る
- 地域ケア会議やサービス担当者会議等に参加し、介護との連携体制を構築する
- 在宅医療の重要性を地域の医療機関に啓発・普及する
- 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の普及を図る
- 介護する家族に対する支援の充実を図る
- 地域住民への在宅医療に関する普及・啓発を行う
- 診療報酬を改定する
- 情報共有ツールの活用
- その他
- 特にない
- 無回答



【クロス別】

クロス別にみると、一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）で「緊急時の受け入れ等、専門医療機関との連携体制を構築する」の割合が、訪問看護師で「介護する家族に対する支援の充実を図る」「地域住民への在宅医療に関する普及・啓発を行う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	複数の医療機関が在宅医療を分担しあう体制や情報提供手段を構築する	緊急時の受け入れ等、専門医療機関との連携体制を構築する	在宅生活を支える訪問看護など介護保険サービスの充実を図る	地域の診療所全体の在宅医療に関する知識や技術の向上を図る	地域ケア会議やサービス担当者会議等に参加し、介護との連携体制を構築する	在宅医療の重要性を地域の医療機関に啓発・普及する	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の普及を図る	
全体	273	40.7	38.5	33.7	19.0	20.9	13.9	15.8	
所属医療機関(6種)	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出有)	15	46.7	73.3	53.3	26.7	26.7	13.3	40.0
	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出無)	83	47.0	59.0	43.4	15.7	8.4	7.2	19.3
	歯科診療所	80	31.3	22.5	20.0	22.5	20.0	16.3	11.3
	薬局	66	47.0	22.7	31.8	13.6	34.8	15.2	7.6
	訪問看護ステーション	17	35.3	52.9	41.2	41.2	29.4	29.4	11.8
	病院の退院支援担当者(病院の地域連携室、看護師等)	11	27.3	27.3	36.4	9.1	18.2	18.2	45.5
職種(6種)	医師	93	48.4	61.3	45.2	16.1	7.5	5.4	22.6
	歯科医師	82	30.5	22.0	19.5	22.0	22.0	17.1	12.2
	薬剤師	65	47.7	23.1	30.8	13.8	35.4	15.4	7.7
	看護師	9	22.2	55.6	55.6	44.4	44.4	44.4	22.2
	訪問看護師	13	38.5	46.2	30.8	30.8	23.1	30.8	7.7
	医療ソーシャルワーカー	7	14.3	14.3	28.6	-	14.3	-	28.6

区分	介護する家族に対する支援の充実を図る	地域住民への在宅医療に関する普及・啓発を行う	診療報酬を改定する	情報共有ツールの活用	その他	特にない	無回答	
全体	28.6	15.4	23.1	22.7	4.0	9.2	11.4	
所属医療機関(6種)	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出有)	46.7	33.3	33.3	26.7	-	-	
	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出無)	25.3	6.0	16.9	16.9	-	15.7	6.0
	歯科診療所	21.3	11.3	25.0	16.3	5.0	10.0	21.3
	薬局	25.8	22.7	27.3	31.8	4.5	6.1	4.5
	訪問看護ステーション	58.8	35.3	17.6	29.4	11.8	-	17.6
	病院の退院支援担当者(病院の地域連携室、看護師等)	54.5	18.2	27.3	45.5	18.2	-	18.2
職種(6種)	医師	28.0	7.5	17.2	17.2	-	14.0	5.4
	歯科医師	20.7	11.0	25.6	17.1	4.9	9.8	20.7
	薬剤師	24.6	21.5	26.2	32.3	4.6	6.2	4.6
	看護師	55.6	33.3	33.3	22.2	22.2	-	11.1
	訪問看護師	61.5	46.2	23.1	30.8	7.7	-	23.1
	医療ソーシャルワーカー	57.1	14.3	-	42.9	-	-	28.6

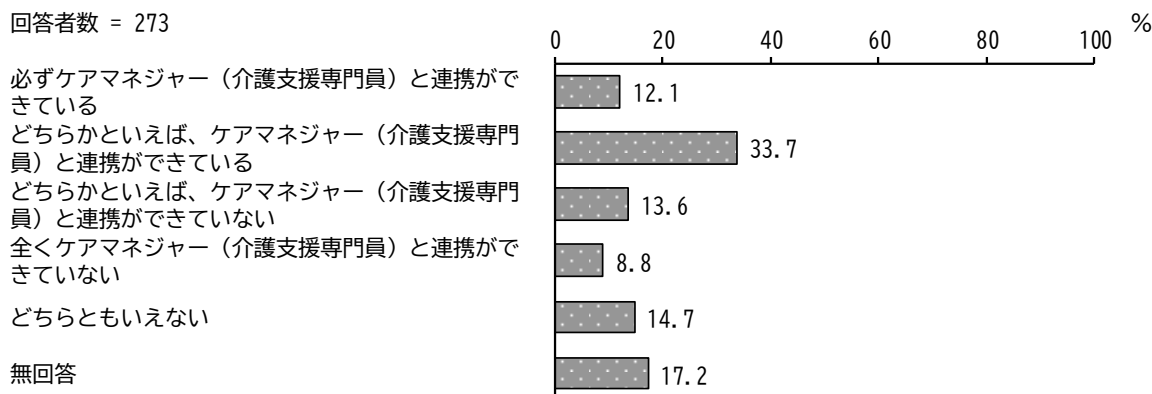


## (9) 地域包括ケアシステムの構築に向けた医療と介護の連携について

問 30 患者本人のケアマネジャー（介護支援専門員）との連携や情報共有の状況はいかがですか。（1つに○）

「どちらかといえば、ケアマネジャー（介護支援専門員）と連携ができている」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 14.7%、「どちらかといえば、ケアマネジャー（介護支援専門員）と連携ができていない」の割合が 13.6%となっています。

回答者数 = 273



### 【クロス別】

クロス別にみると、訪問看護師で「必ずケアマネジャー（介護支援専門員）と連携ができている」の割合が、病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）、訪問看護ステーションで「どちらかといえば、ケアマネジャー（介護支援専門員）と連携ができている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	必ずケアマネジャー（介護支援専門員）と連携ができている	どちらかといえば、ケアマネジャー（介護支援専門員）と連携ができている	どちらかといえば、ケアマネジャー（介護支援専門員）と連携ができていない	全くケアマネジャー（介護支援専門員）と連携ができていない	どちらともいえない	無回答	
全 体	273	12.1	33.7	13.6	8.8	14.7	17.2	
所属医療機関（6種）	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）	15	20.0	46.7	20.0	6.7	6.7	—
	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無）	83	7.2	27.7	25.3	9.6	14.5	15.7
	歯科診療所	80	10.0	16.3	12.5	16.3	18.8	26.3
	薬局	66	15.2	48.5	3.0	3.0	16.7	13.6
	訪問看護ステーション	17	35.3	58.8	—	—	—	5.9
	病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）	11	—	63.6	9.1	—	9.1	18.2
職種（6種）	医師	93	7.5	30.1	25.8	9.7	14.0	12.9
	歯科医師	82	9.8	17.1	12.2	15.9	18.3	26.8
	薬剤師	65	15.4	47.7	3.1	3.1	16.9	13.8
	看護師	9	11.1	77.8	—	—	—	11.1
	訪問看護師	13	46.2	46.2	—	—	—	7.7
	医療ソーシャルワーカー	7	—	57.1	14.3	—	—	28.6

問 31 ケアマネジャー（介護支援専門員）、訪問看護師、福祉施設介護員、福祉施設生活相談員、ホームヘルパー（訪問介護員）、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士にどのようなことを期待しますか。それぞれ具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、46件（ケアマネジャー（介護支援専門員）：11件、訪問看護師：10件、福祉施設介護員：5件、福祉施設生活：4件、相談員：3件、ホームヘルパー（訪問介護員）：7件、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士：5件、その他：1件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

【ケアマネジャー（介護支援専門員）】

内容	件数
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	4
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	4
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	2
その他	1
特になし	0

【訪問看護師】

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	5
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	3
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	2
その他	0
特になし	0

【福祉施設介護員】

内容	件数
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	3
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	1
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	0
その他	1
特になし	0

【福祉施設生活】

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	2
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	1
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	0
その他	1
特になし	0

【相談員】

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	2
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	0
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	0
その他	1
特になし	0

【ホームヘルパー（訪問介護員）】

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	4
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	2
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	1
その他	0
特になし	0

【理学療法士・作業療法士・言語聴覚士】

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	3
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	1
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	0
その他	1
特になし	0

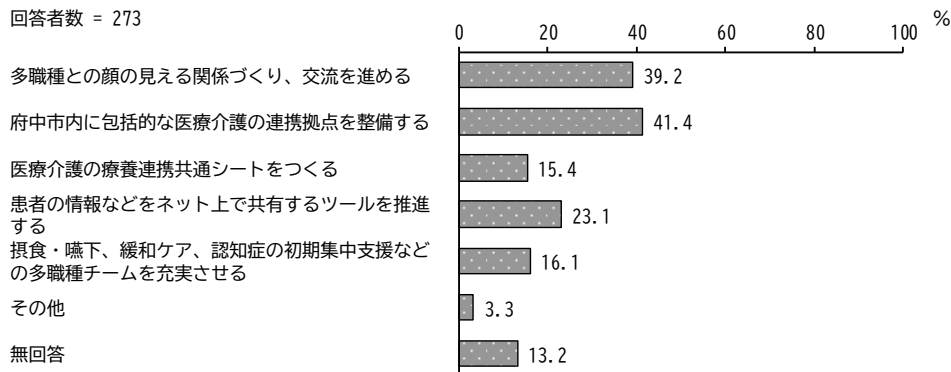
## 【その他】

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	1
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	0
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	0
その他	0
特になし	0

問 32 2025 年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療と介護の連携は最重要課題であるといわれています。これから府中市で医療と介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。

(1) 連携の仕組みづくり (2つまでに○)

「府中市内に包括的な医療介護の連携拠点を整備する」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「多職種との顔の見える関係づくり、交流を進める」の割合が 39.2%、「患者の情報などをネット上で共有するツールを推進する」の割合が 23.1%となっています。



【クロス別】

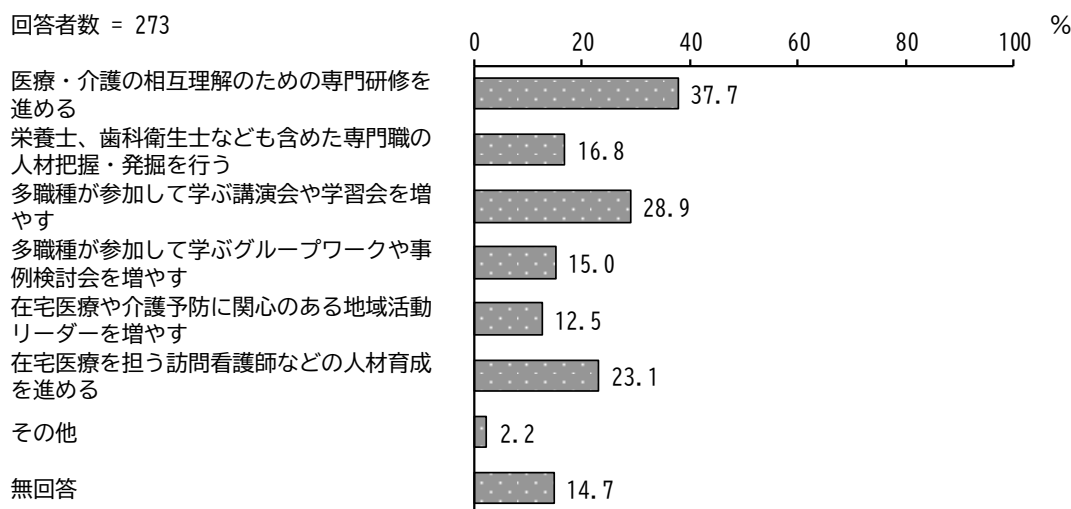
クロス別にみると、一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）で「摂食・嚥下、緩和ケア、認知症の初期集中支援などの多職種チームを充実させる」の割合が、病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）、訪問看護師で「多職種との顔の見える関係づくり、交流を進める」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	多職種との顔の見える関係づくり、交流を進める	府中市内に包括的な医療介護の連携拠点を整備する	医療介護の療養連携共通シートをつくる	患者の情報などをネット上で共有するツールを推進する	摂食・嚥下、緩和ケア、認知症の初期集中支援などの多職種チームを充実させる	その他	無回答	
全体	273	39.2	41.4	15.4	23.1	16.1	3.3	13.2	
所属医療機関 (6種)	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出有)	15	53.3	40.0	6.7	13.3	46.7	6.7	—
	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出無)	83	28.9	51.8	15.7	22.9	14.5	3.6	9.6
	歯科診療所	80	35.0	36.3	17.5	13.8	17.5	2.5	21.3
	薬局	66	47.0	39.4	18.2	34.8	9.1	3.0	7.6
	訪問看護ステーション	17	52.9	29.4	11.8	35.3	11.8	5.9	17.6
	病院の退院支援担当者(病院の地域連携室、看護師等)	11	63.6	36.4	—	18.2	27.3	—	18.2
職種 (6種)	医師	93	30.1	49.5	15.1	21.5	20.4	4.3	8.6
	歯科医師	82	36.6	35.4	17.1	13.4	17.1	2.4	20.7
	薬剤師	65	47.7	40.0	18.5	35.4	9.2	1.5	7.7
	看護師	9	44.4	22.2	—	55.6	22.2	—	22.2
	訪問看護師	13	53.8	38.5	15.4	15.4	7.7	15.4	15.4
	医療ソーシャルワーカー	7	42.9	14.3	—	28.6	28.6	—	28.6

## (2) 地域の人材育成（2つまでに○）

「医療・介護の相互理解のための専門研修を進める」の割合が37.7%と最も高く、次いで「多職種が参加して学ぶ講演会や学習会を増やす」の割合が28.9%、「在宅医療を担う訪問看護師などの人材育成を進める」の割合が23.1%となっています。



## 【クロス別】

クロス別にみると、訪問看護ステーション、訪問看護師で「在宅医療を担う訪問看護師などの人材育成を進める」の割合が、病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）で「多職種が参加して学ぶグループワークや事例検討会を増やす」の割合が高くなっています。

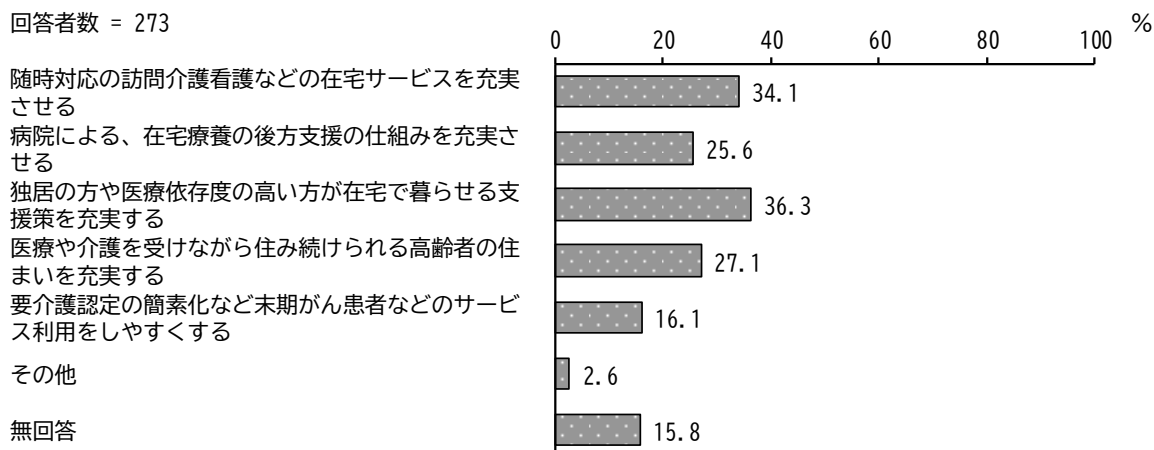
単位：%

区分	回答者数(件)	医療・介護の相互理解のための専門研修を進める	栄養士、歯科衛生士なども含めた専門職の人材把握・発掘を行う	多職種が参加して学ぶ講演会や学習会を増やす	多職種が参加して学ぶグループワークや事例検討会を増やす	在宅医療や介護予防に関心のある地域活動リーダーを増やす	在宅医療を担う訪問看護師などの人材育成を進める	その他	無回答	
全体	273	37.7	16.8	28.9	15.0	12.5	23.1	2.2	14.7	
所属医療機関(6種)	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）	15	46.7	33.3	40.0	—	13.3	33.3	—	—
	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無）	83	43.4	7.2	22.9	9.6	19.3	30.1	2.4	12.0
	歯科診療所	80	32.5	33.8	23.8	15.0	3.8	13.8	2.5	25.0
	薬局	66	36.4	9.1	39.4	19.7	15.2	16.7	3.0	7.6
	訪問看護ステーション	17	23.5	11.8	35.3	17.6	5.9	64.7	—	11.8
	病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）	11	54.5	—	27.3	45.5	18.2	—	—	18.2
職種(6種)	医師	93	41.9	9.7	24.7	7.5	20.4	31.2	2.2	10.8
	歯科医師	82	31.7	34.1	23.2	15.9	3.7	13.4	2.4	24.4
	薬剤師	65	36.9	9.2	38.5	20.0	15.4	15.4	3.1	7.7
	看護師	9	44.4	—	33.3	11.1	22.2	55.6	—	11.1
	訪問看護師	13	23.1	15.4	38.5	23.1	—	53.8	—	15.4
	医療ソーシャルワーカー	7	42.9	—	28.6	57.1	—	—	—	28.6

### (3) サービス・基盤整備（2つまでに○）

「独居の方や医療依存度の高い方が在宅で暮らせる支援策を充実する」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「随時対応の訪問介護看護などの在宅サービスを充実させる」の割合が 34.1%、「医療や介護を受けながら住み続けられる高齢者の住まいを充実する」の割合が 27.1%となっています。

回答者数 = 273



#### 【クロス別】

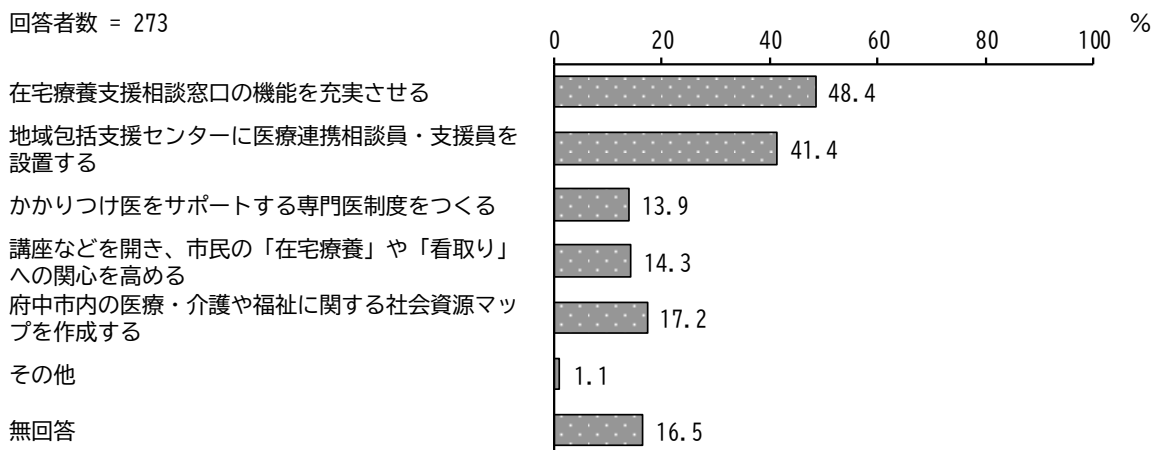
クロス別にみると、病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）で「独居の方や医療依存度の高い方が在宅で暮らせる支援策を充実する」の割合が、訪問看護ステーションで「要介護認定の簡素化など末期がん患者などのサービス利用をしやすいとする」の割合が、一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）で「医療や介護を受けながら住み続けられる高齢者の住まいを充実する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	随時対応の訪問介護看護などの在宅サービスを充実させる	病院による、在宅療養の後方支援の仕組みを充実させる	独居の方や医療依存度の高い方が在宅で暮らせる支援策を充実する	医療や介護を受けながら住み続けられる高齢者の住まいを充実する	要介護認定の簡素化など末期がん患者などのサービス利用をしやすいとする	その他	無回答	
全体	273	34.1	25.6	36.3	27.1	16.1	2.6	15.8	
所属医療機関（6種）	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）	15	33.3	33.3	46.7	46.7	20.0	—	—
	一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無）	83	37.3	25.3	38.6	30.1	7.2	4.8	14.5
	歯科診療所	80	32.5	18.8	33.8	21.3	13.8	2.5	26.3
	薬局	66	36.4	31.8	31.8	27.3	21.2	—	7.6
	訪問看護ステーション	17	29.4	41.2	29.4	29.4	41.2	—	11.8
	病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）	11	18.2	9.1	63.6	18.2	27.3	9.1	18.2
職種（6種）	医師	93	37.6	26.9	39.8	32.3	7.5	5.4	11.8
	歯科医師	82	31.7	18.3	34.1	22.0	14.6	2.4	25.6
	薬剤師	65	35.4	30.8	32.3	27.7	21.5	—	7.7
	看護師	9	22.2	44.4	44.4	11.1	44.4	—	11.1
	訪問看護師	13	30.8	38.5	30.8	38.5	30.8	—	15.4
	医療ソーシャルワーカー	7	14.3	—	42.9	14.3	42.9	—	28.6

#### (4) 情報提供・相談支援の充実（2つまでに○）

「在宅療養支援相談窓口の機能を充実させる」の割合が48.4%と最も高く、次いで「地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する」の割合が41.4%、「府中市内の医療・介護や福祉に関する社会資源マップを作成する」の割合が17.2%となっています。



#### 【クロス別】

クロス別にみると、訪問看護師、訪問看護ステーションで「講座などを開き、市民の「在宅療養」や「看取り」への関心を高める」の割合が、病院の退院支援担当者（病院の地域連携室、看護師等）で「府中市内の医療・介護や福祉に関する社会資源マップを作成する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	在宅療養支援相談窓口の機能を充実させる	地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する	かかりつけ医をサポートする専門医制度をつくる	講座などを開き、市民の「在宅療養」や「看取り」への関心を高める	府中市内の医療・介護や福祉に関する社会資源マップを作成する	その他	無回答	
全体	273	48.4	41.4	13.9	14.3	17.2	1.1	16.5	
所属医療機関(6種)	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出有)	15	53.3	46.7	20.0	26.7	6.7	—	
	一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出無)	83	45.8	48.2	14.5	8.4	21.7	2.4	14.5
	歯科診療所	80	46.3	33.8	12.5	10.0	16.3	1.3	27.5
	薬局	66	53.0	43.9	12.1	19.7	13.6	—	9.1
	訪問看護ステーション	17	58.8	23.5	23.5	35.3	11.8	—	11.8
	病院の退院支援担当者(病院の地域連携室、看護師等)	11	36.4	54.5	9.1	9.1	36.4	—	18.2
職種(6種)	医師	93	48.4	45.2	15.1	9.7	20.4	2.2	12.9
	歯科医師	82	45.1	34.1	12.2	11.0	15.9	1.2	26.8
	薬剤師	65	53.8	44.6	12.3	18.5	13.8	—	9.2
	看護師	9	33.3	33.3	33.3	22.2	22.2	—	11.1
	訪問看護師	13	61.5	23.1	15.4	46.2	7.7	—	15.4
	医療ソーシャルワーカー	7	14.3	57.1	—	14.3	42.9	—	28.6